令和4年度第5回御船町議会定例会（9月会議） 議事日程（第4号）

令和4年9月14日

午前10時00分開会

1 議事日程

- 第1 報告第6号 財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 第2 報告第7号 専決処分の報告について
- 第3 認定第1号 令和3年度御船町一般会計歳入歳出決算について

2 出席議員は次のとおりである（13人）

1番 中城 峯 雄 君	2番 井 藤 はづき 君
3番 宮 川 一 幸 君	4番 福 本 悟 君
5番 田 上 英 司 君	6番 増 田 安 至 君
7番 森 田 優 二 君	8番 岩 永 宏 介 君
9番 福 永 啓 君	10番 田 上 忍 君
11番 藤 川 博 和 君	12番 清 水 聖 君
14番 池 田 浩 二 君	

3 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名（1人）

事務局長 安 田 哲 也 君

4 説明のため出席した者の職氏名（17人）

町 長 藤 木 正 幸 君	副 町 長 宮 本 正 君
教 育 長 上 杉 奈 緒 子 君	総 務 課 長 野 口 壮 一 君
企 画 財 政 課 長 本 田 隆 裕 君	町 民 税 務 課 長 畑 野 英 樹 君
福 祉 課 長 西 本 和 美 君	こ ども 未 来 課 長 沖 勝 久 君
健 康 づ くり 保 険 課 長 作 田 豊 明 君	農 業 振 興 課 長 井 上 辰 弥 君
商 工 観 光 課 長 河 地 克 敏 君	建 設 課 長 島 田 誠 也 君
環 境 保 全 課 長 鶴 野 修 一 君	会 計 管 理 者 田 中 智 徳 君
学 校 教 育 課 長 本 田 恵 美 君	社 会 教 育 課 長 緒 方 良 成 君

監 査 委 員 吉 川 勲 君

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時00分 開 会

○議長（池田浩二君） おはようございます。

ただ今から、本日の会議を開きます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 報告第6号 財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

○議長（池田浩二君） 日程第1、報告第6号、「財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について」を議題とします。

質疑を行います。質疑はありますか。

○1番（中城峯雄君） それでは、質問いたします。実質公債比率が前年度より1.5%増加して11.6%となっております。これは公債費の元利償還金が14億7,800万円と1億7,500万円増加しております。熊本地震からの復旧のための町債の増加によるものと思いますけれども、熊本地震から丸6年が経過して、まだまだ続くと思いますけれども、いつ頃まで続くでしょうか、お尋ねいたします。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

熊本地震関連の地方債の償還ですけれども、一番遅いもので令和26年度まで続きます。なお、地方債全体の償還のピークは令和7年度と予想しておりまして、その後は地震前の水準に戻っていくものと思っております。

熊本地震関連の地方債ですけれども、本数として65本あと残っております。

○1番（中城峯雄君） ピークが令和7年度、また令和26年まで続くということで、まだまだ続きますけれども、前企画財政課長のときに、熊本地震関連の町債は交付税で9割は返ってきますという答弁をいただいておりますけれども、地方交付税を見ますと、前年度比で4億1,300万円増加しております。このうちに、地震による町債の増加の、地方交付税で返ってきた分はどれぐらいあるでしょう。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

普通交付税につきましては、基準財政需要額と基準財政収入額の差額を交付されることで算定をされます。一概に地震関連分の地方交付税ということで算出することは難しい

んですけども、令和3年度の災害復旧費にかかります基準財政需要額は2億2,795万1,000円ということで、令和2年度に比べまして6,958万2,000円増加をしております。そのほかとしまして、公債費の基準財政需要額が令和3年度は6億6,276万9,000円でした。令和2年度と比べまして1億513万3,000円増加しております。これは、緊急防災減災事業債という起債がありますが、これが交付税措置率が70%ですけども、こういった交付税措置の有利な起債を活用しましたことによるものでございます。

○1番（中城峯雄君） 明確に、地震関連の町債が返ってきたということは明確にはできないようですけども、間違いなく増えておりますということですよ。はい。

それでは次にいきます。将来負担比率が前年度から77.8%と40.5%改善されております。令和2年度が20.8%改善され、今年度はさらに40.5%大幅に改善されています。全協の説明で基金残高が増加しましたと。基金残高を見ますと8億8,000万円増加しております。これは主にふるさと納税の増加と思っておりますけれども、ふるさと納税の過去5年間の推移について説明を求めます。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

平成29年度から申し上げたいと思います。平成29年度の寄附額につきましては、1億1,292万6,000円です。29年度のふるさと応援基金の基金残高は1億79万9,000円です。次に、平成30年度です。寄附額は2億4,898万4,000円、基金残高は3億157万7,000円。次に、令和元年度です。寄附額6億6,866万4,000円、基金残高は5億3,468万2,000円。次に令和2年度になります。寄附額は24億8,026万9,000円、基金残高は12億2,922万5,000円。次に令和3年度になります。寄附額は25億3,455万7,000円、基金残高は14億5,587万4,000円。以上となっております。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

○9番（福永 啓君） 中城議員と同じ部分なんですけど、実質公債費比率について、お伺いいたします。決算については、後の決算質疑で全体的なことはお伺いしますが、決算全体が好調なことと逆で、実質公債費比率のみは先ほど中城議員が指摘されたとおり、右肩上がりとなっております。財政支出の中の大変気になる数値になってきていると思います。これが18%に達すると、起債に県の許可がいちいち必要になってくるということになると思います。起債事業は毎年欠かせない事業なのですが、これにいちいち県の許可が必要となると、町の独自性、何よりスピード感が失われるのが怖いということになると思うんですけど、こ

これは18%以内にとどめなければいけないんですよ、恐らくというか、それが当たり前だと思うんですが。

あと、どれくらい起債できるとか、その18%に届くまで、そのあたりは計算できたり、何かわかりやすく示したりすることは、あとこれだけ起債できますよというのは、わかりやすく示したりすることは可能ですか。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

県の許可が必要となります実質公債費比率18%を超えない範囲内であと幾ら起債ができるかということですが、起債の交付税算定根拠とか、それから特定財源の額、こういったものによって変動していきますので、なかなか正確な数字を出すことは厳しいものがございます。

今後の見通しとしまして、一時的に、若干は実質公債費比率が増える可能性があります。いずれにしましても、起債事業に当たりましては今後とも交付税の算入率の大きい起債とか、特定財源のある起債などを利用して、実質公債費比率の抑制に努めていきたいと思っております。

○9番（福永 啓君） そのような答弁もわかるんですが、これは計算式がありますので、簡単にざっと計算をしてみました。私の理解が間違っているかどうか教えてください。結局、標準財政規模の1%、これが御船町の場合は大体5,100万円になります。そうすると、5,100万円の公債費が生じる額、これが実質公債費比率の1%に当たってくるのだらうと思うんです。ですので、仮に交付税算定が全くない、全部町のさらの借金みたいになったら、これが5,100万円の公債費がかかってくるものがプラス大体1%になると。そうしますと、御船町の例えば10年で返すんだったらその10倍ですから5億円ですね。20年で返すんだったらその20倍、20億円ですね、1%が。そういう計算になるのではないかなと思います。

そしてそれが、例えば交付税算定根拠が5割入るとした場合、仮に、これはあまり少ないんですが、100%だったら実質公債費比率には含まれないと。大体、そのような理解でよろしいでしょうか。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

今おっしゃったようなことで、おおむねそのような理解で構わないと思っております。しかし、毎年毎年償還が終了していく起債もございまして、元利償還金の交付税算入率が改正

されるような場合もございます。したがって、予測というのは、なかなか非常に難しいと感じております。

なお、町のシミュレーションを作っておりますが、償還のピークを令和7年と予想しております。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

以上で、報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 報告第7号 専決処分の報告について

○議長（池田浩二君） 日程第2、報告第7号、「専決処分の報告について」を議題とします。

質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

以上で、報告を終わります。

令和3年度御船町一般会計、特別会計及び水道事業会計歳入歳出決算審査に係る監査委員の報告を求めます。

○監査委員（吉川 勲君） ただ今、議長から決算審査に係る報告を求められましたので、令和3年度御船町各会計の決算書に係る監査の報告をいたします。

町長から、令和4年8月1日付けで地方自治法第233条第2項及び地方自治法第241条第5項の規定による令和3年度御船町一般会計及び特別会計歳入歳出決算及び地方公営企業法第30条第2項の規定による、令和3年度御船町水道事業会計決算について審査を付されましたので、令和4年8月1日から令和4年8月19日までの間審査を行いました。

審査の結果、各会計とも決算関係調書、書類においては、関係諸法令及び諸条例に依拠して調整されており、計数は正確で、予算の執行は適正な処理がなされておりました。

なお、決算審査の内容につきましては、お手元に配布しております決算審査意見書にて御確認をお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第1号 令和3年度御船町一般会計歳入歳出決算について

○議長（池田浩二君） 日程第3、認定第1号、「令和3年度御船町一般会計歳入歳出決算について」を議題とします。

一般会計の歳入について、1款、町税から14款、使用料及び手数料までの説明を求めます。

○企画財政課長（本田隆裕君） お手元の令和3年度の決算書をお開けください。本日の説明は、決算書の各目ごとの決算額並びに備考欄の主なものについて、説明をいたします。

まず、歳入の1款、町税について、町民税務課長より説明を申し上げます。

○町民税務課長（畑野英樹君） それでは、決算書の歳入の説明を行います。18、19ページをお願いいたします。

1款、町税。1項、町民税。1目、個人。収入済額5億9,311万1,650円です。2目、法人。収入済額8,226万1,400円です。

2項、固定資産税。1目、固定資産税。収入済額7億1,372万1,627円です。2目、国有資産等所在市町村交付金及び納付金。収入済額349万3,000円です。

3項、軽自動車税。1目、環境性能割。収入済額259万8,200円です。20、21ページをお願いいたします。2目、種別割。収入済額6,727万3,676円です。

4項、1目、市町村たばこ税。収入済額1億1,269万2,157円です。

以上で、町税の歳入の説明を終わります。

○企画財政課長（本田隆裕君） それでは、続きまして、決算書の20、21ページになります。

2款の地方譲与税です。地方譲与税はいったん国が国税として徴収したものを後で一定の割合で市町村に譲与するものです。1項、1目、地方揮発油譲与税。収入済額2,091万5,000円。2項、1目、自動車重量譲与税。収入済額5,980万円。4項、1目、森林環境譲与税。収入済額971万8,000円。

22、23ページをお願いします。3款、利子割交付金です。預貯金に対する利子に課税され、県が収納したものを一定の割合で市町村に交付するものであります。1項、1目、利子割交付金。収入済額75万9,000円。

4款、配当割交付金です。株式の配当所得について、市町村の県民税の額に応じて按分し、自治体に交付するものでございます。1項、1目、配当割交付金。収入済額349万8,000円。

5款、株式等譲渡所得割交付金です。これは、配当割交付金と同じように、株式の譲

渡所得について、一定の割合で市町村に按分交付するものでございます。1項、1目、株式等譲渡所得割交付金。収入済額708万4,000円。

6款、法人事業税交付金です。これは、県税の法人事業税の一部を都道府県から市町村に交付するものでございます。1項、1目、法人事業税交付金。収入済額1,436万6,000円。

次に、24、25ページをお願いします。7款、地方消費税交付金です。地方消費税の半分を国勢調査の人口や事業所統計の事業者数に応じて分配されるというものです。1項、1目、地方消費税交付金。収入済額3億8,492万9,000円。

8款、ゴルフ場利用税交付金です。県に納付されたゴルフ場利用税の10分の7をゴルフ場所在地の市町村に交付するものです。1項、1目、ゴルフ場利用税交付金。収入済額1,592万8,615円。

9款、環境性能割交付金です。燃費基準達成度に応じて県に納付された環境性能割税にかかります配分金を道路の延長とか面積で按分して交付されるものです。1項、1目、環境性能割交付金。収入済額580万2,000円。

10款、地方特例交付金です。税控除等によります減収補填として国から交付されるものでございます。1項、1目、地方特例交付金。収入済額2,585万5,000円。26、27ページをお願いします。5項、1目、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金。収入済額1,673万2,000円。

11款、地方交付税です。これは、基準財政需要額が基準財政収入額を超える団体に交付される普通交付税と、基準財政需要額に反映することができなかった具体的な事情を考慮して交付される特別交付税があります。1項、1目、地方交付税。収入済額36億6,015万8,000円。

次に、12款、交通安全対策特別交付金です。1項、1目、交通安全対策特別交付金。収入済額122万4,000円。

13款、分担金及び負担金です。1項、1目、農林水産業費分担金。収入済額131万7,463円。農地等災害復旧費分担金になります。同じく、1目、農林水産業費分担金繰越明許。収入済額114万4,032円。同じく1目、農林水産業費分担金事故繰越。収入済額82万3,941円。いずれも農地等災害復旧費分担金になります。3目、総務費分担金。収入済額311万2,000円。郡内4町からの収入印紙等売りさばき分担金となります。

2項、1目、民生費負担金。収入済額4,904万6,612円。主なものは、公立保育園利用料や私立保育園利用料、老人ホーム入所自己負担金などになります。次に30、31ページをお願いします。3目、農林水産業費負担金。収入済額460万6,000円。天君ダム管理負担金になります。4目、教育費負担金。収入済額58万980円。主なものは、独立行政法人日本スポーツ振興センター負担金です。

次に、14款、使用料及び手数料です。1項、1目、民生使用料。収入済額49万9,110円。町民憩の家使用料になります。3目、商工使用料。収入済額29万3,305円。街なかギャラリーの使用料等になります。次に、32、33ページをお願いします。4目、土木使用料。収入済額9,737万1,689円。主なものは町営住宅家賃です。次に、5目、教育使用料。収入済額2,112万7,442円。主なものは恐竜博物館観覧料です。6目、農林水産使用料。収入済額6万5,899円。広域農道敷きの施設使用料となっております。

2項、1目、総務手数料。収入済額1,066万8,474円。各種証明手数料になります。34、35ページをお願いします。2目、衛生手数料。収入済額59万3,300円。主なものは狂犬病予防事務手数料となっております。

以上で、1款、町税から14款、使用料及び手数料までの説明を終わります。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。1款、町税から14款、使用料及び手数料までについて、質疑はありませんか。

○4番（福本 悟君） まず、決算の全般について伺わせていただきます。令和3年度の歳入歳出総額は、令和2年度に比べまして大幅に減っていると思いますが、その原因について説明を求めます。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

令和3年度の一般会計決算額は、歳入総額144億8,241万1,000円、歳出総額135億8,590万円となり、前年度決算に対し歳入で10億7,116万円の減、歳出で14億4,124万9,000円の減となりました。歳入歳出共通の減額の理由としましては、令和2年度に実施されました1人10万円を給付する特別定額給付金事業が令和3年度は実施されなかったことが、歳入歳出減額の大きな理由となります。

これ以外で申しますと、歳入歳出別に申し上げますが、まず歳入は地方交付税が4億3,179万9,000円の増、それからふるさと納税寄附金が5,428万9,000円の増となっております。歳出につきましては、御船インター東側の道路改良事業など、事業費の減によります

土木費が8億9,244万5,000円の減、それから災害復旧費が5億5,810万7,000円の減、こういったものが要因となっております。

○4番（福本 悟君） それでは、歳入の19ページ、町税について伺わせていただきます。町税全体で、前年度対比1,377万1,550円の増額となっております。まず、その説明を求めます。

○町民税務課長（畑野英樹君） お答えいたします。

まず、町民税ですけれども、町民税の個人で約2,334万円の増となっております。主な要因といたしましては、小坂インターチェンジ東側を含めました町内平坦部の宅地造成等に伴います土地譲渡所得の増によるものでございます。また、法人の町民税につきましては、所得割で563万円の減、それから均等割につきましては294万円の増ということになっております。所得割の減につきましては、新型コロナの影響が出ているものと思われま。それから均等割の増につきましては、令和3年度に町内のほうに会社設立とか支店等の設置が30社ございます。その分で増えております。

固定資産税ですけれども、約1,582万円、令和2年度に比べまして減っております。こちらにつきましては要因はいろいろございますが、主な要因といたしましては、令和3年度が総務大臣が定めました固定資産評価基準に基づき、3年に一度の土地家屋の評価の見直しの年でありました。この評価替えによりまして、以前建てられた家屋の評価見直しを行った結果、評価額が下がったことによりまして、固定資産税の減額となっております。

それから、軽自動車税でございますが、こちらにつきましては、種別割で約77万円増額となっております。増額の要因でございますが、平成27年3月末以前に購入されておりました古い軽自動車を買替えてされているということで、増となっているものと考えられます。

また、たばこ税ですが、こちらにつきましては、約850万円増額となっております。こちらの主な理由としましては、令和3年10月1日にたばこ税の税率引き上げがなされております。これは平成30年度の税制改正によるものでございます。それによりまして、1本当たり0.43円の引き上げとなっております。それから、卸売本数の増も約17万本増えておりました。令和3年度におきましては、全体で1,800万本の販売がなされております。このことが増額の要因となっているものと考えられます。

以上、申し上げましたことによりまして、結果的に町税が1,377万2,000円ほど増額と

なっております。

○4番（福本 悟君） それでは、固定資産税の関係ですけれども、ただ今の説明で評価替えで本年度の決算では下がりましたということですが、この総合計画の中にある新築家屋の棟数が令和5年度の目標値では75件となっておりますけれども、令和3年度の決算ベース、目標は達成していますでしょうか。まず、実績はどうなっていますでしょうか。

○町民税務課長（畑野英樹君） お答えいたします。

令和2年中の住宅の新築部分でございますが、こちらは139棟となっております。全体で申しますと、倉庫とか事務所等も含めると、全体で申しますと165棟が令和2年中に建築をされておりますので、総合計画の目標はクリアしているものと考えます。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

○9番（福永 啓君） まず、決算の歳入を含め包括的な質問から入ります。実質収支比率、これは本決算では14.4%と、この決算審査にも出ているように、前年度の8.2%に比べ、相当上昇しています。そもそも、実質収支比率はいわゆる町の収支の黒字幅を表す収支であり、一般の企業でいえば、これは黒字が多ければ多いに越したことはないんですが、自治体の場合は、これは3%から5%程度が望ましいですよ、適切ですよとされているのです。それはなぜですか。

また、本決算において、その適切と言われている比率を大きく上回るようになった理由をお答えください。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

町は営利企業とは根本的に異なりまして、利益を上げることが目的ではなく、広く町民の福祉向上のための事業を適切に行うことが目的であります。そのため、適切な予算を計上し、適切に執行しなければならず、町の収支が大幅な黒字額となることは決して望ましいものではありません。実質収支が大きく上昇した主な原因としましては、コロナの影響により各種事業が中止、もしくは縮小されたことに伴う歳出の減、それからコロナ関連の交付金やふるさと納税が予算時の見積りよりも増えたことによる歳出の増、こういったものに加えまして、議会初日に説明申し上げましたが、ふるさと納税約1億4,466万円の基金積立の未執行がありまして、不用額が増えたことも要因の1つであります。

このような、令和3年度特有の事情がなければ、おおむね令和2年度と同規模の実質収支になっていただろうとみております。

○9番（福永 啓君） 今ちょっと、コロナ関連の交付金やふるさと納税が予算時の見積りより増えたことによる歳出と言いましたか。これは歳入ですよ。歳入に当たりますよね。歳入でよろしいですね。歳入として受けとめますが、はい、歳入の増ですね。わかりました。そういう今年度の特別な事情があるのもわかります。ただ、おしなべて、例えば10年平均をしてみても実は、御船町の10年平均、この実質収支比率の10年平均は9.7%あるんです。

一方、類似団体、御船町と同じような団体は、昨年度の決算の平均で5.5%、これは大きな差があると思います。やはりこのような決算の数値を見ますと、今以上に適切な予算の立案、予算の執行がなされていれば、何か町の財政上、もっとできた事業があったのではないかと感じるのですが、いかがでしょうか。

○企画財政課長（本田隆裕君） そのような御指摘を真摯に受けとめまして、町民全体の福祉向上のために、今以上に適切な予算案の立案、それから執行に向けて努力してまいります。

○9番（福永 啓君） 続きまして、今の黒字幅の額の半分を、この財政調整基金に入れるようになってくると思うんですが、この財政調整基金等、今14億円ですよ。そもそもこの決算で今14億円なんです、この額というのは、御船町の財政調整基金として適切な額なのでしょうか。また、これを今年度どれだけ積み増しし、もしくは減額することを想定していますか。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

熊本地震前の財政調整基金額が残額が約12億円でした。この財政調整基金で未曾有の災害であります熊本地震を何とか乗り越えることができたこともありまして、現時点での約14億円という数字は、町としては適切な額であると考えております。

なお、現時点におきましては、今年度中にあと約4億円ほど積み増すことを想定しております。

○9番（福永 啓君） そうしますと18億円ですよ。財政調整基金はいざというときの町の貯金であり、さっき説明があったように、熊本地震を何とか乗り越えた12億円というのは、町にとって1つの目安となると思います。そして、18億円、もう14億円でもこれは過去恐らく最高額だと思います。町の財政上です。そして18億円。財政調整基金は積み増せばいいというものではなくて、やはり熊本地震そしてその後のコロナで町民に我慢を強いて

きた部分があります。ここではあんまり発言はないんですが、町民の方は、「町はお金がなかもんね」「町はお金がなかもんね」というのは合い言葉のようにおっしゃっているんですよ。

もう、そのような時期は終わらせて、町長がやりたかった事業を含め、町民が求める事業、町民のための事業を積極的に始める時期に来ているのではないかと思います、町長のお考えをお聞かせください。

○町長（藤木正幸君） お答えをさせていただきます。

地震前の財政調整基金が12億円を少し超えたぐらいの金額でした。議会で議決いただいて、全部町に任せるということで使うに使いました。もうすぐ、残り90万円というところまでにきました。そのときの苦しみを考えて、私自身はどうか18億円か20億円の財政調整基金が必要だという頭で今指示をしているところであります。やはり、いざというとき経験したものを生かして、ここを基準として、これから先は、やはり今議員が言われたとおり、町民の福祉のほうに少しでも回るように心がけて考えてまいりたいと思っております。

○9番（福永 啓君） 18億円になるわけですからね。これからはその目的も達したわけですから、これから先は、ぜひ町民のための事業を積極的に始めていただきたい。町長の思いを含めてしていただきたいと思います。

今度は財政力指数ですが、先ほど歳入の説明でもございましたが、非常に町の自主財源が増えてきています。財政力指数は自主財源の割合が高いほど、その数値が高くなると思うんです。先ほど町のふるさと納税増えました。そして町税増えました。そして町の歳出の、福本議員の質問でもありましたけれども、歳出の決算規模は下がりました。総額で下がっています。そして、個別の自主財源の額は上がっています。そうしますと、普通に考えれば財政力指数は上がるんじゃないかなと考えるんですが、今年度、財政力指数が下がっているんです。この理由は何でしょうか。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

財政力指数は基準財政収入額を基準財政需要額で除した値の3カ年平均の数値になります。分子であります基準財政収入額は、町税や地方譲与税となりますが、これらの収入額の伸びよりも分母であります基準財政需要額の伸び幅が大きかったために財政力指数が小さくなりました。

基準財政需要額の増加原因の1つは、熊本地震関連の起債償還に係る公債費の増になります。

○9番（福永 啓君） 今の説明をお聞きすると、単年度ではそういう財政力指数が上昇する要因はあったのですが、令和3年度の平均で出すので、その分で熊本地震関係の起債償還に係る公債費が今増えているので、それを単年度の要因を帳消しにしても悪化するぐらい増えている、多かったという感じで受け取ってよろしいんですか。

○企画財政課長（本田隆裕君） はい、そのようなことになります。

○9番（福永 啓君） 続いて、これが最後です。経常収支比率、これは簡単に言えば人件費や借金の支払に充てるお金、毎年決まって係る義務的経費が地方交付税、町税など町に毎年収入があり、かつ町が自由に使える収入に対してどれぐらいあるかを見る比率ですね。この比率が高いことは、町独自の政策に充てる経費が少なくなり、町財政の硬直化を防ぐことを意味します。一般的に80%以上で財政が弾力性を失いつつあるとされ、90%以上で、財政構造が硬直化されているとされています。そして95%を超えると総務省の財政運営ヒアリング対象団体となるんです。御船町の場合は、ここ数年ぎりぎり95%を超えない程度です。だから財政が硬直化されているというレベルに来ていました。

しかし、この本決算では、妥当とまでは言えないんですけど、84%となりました。これは、類似団体の昨年度平均90%程度より低く、財政の硬直化は相当程度解消されたとも言えると思うんですが、この理由は何ですか。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

経常的な一般財源であります地方交付税が増加したことで、経常収支比率を算定する際の分母が大きくなりました。一方で、経常的な一般財源に含まれないふるさと納税による歳入を、一部経常的な経費に充当しましたので、分子は小さくなりました。このことが経常収支比率のよくなった原因であります。

それから、ふるさと納税の歳入を経常経費に充当するということは、議会でも再三御指摘を受けているように、本来は慎重であるべきであると思います。今決算で経常収支比率が平均を上回ったことは、このような原因がありますが、今回の数値に満足することなく、今後も経常収支比率の改善の努力を続ける必要があると思っております。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

続いて、15款、国庫支出金から17款、財産収入までの説明を求めます。

○企画財政課長（本田隆裕君） それでは、続きまして15款、国庫支出金から説明いたします。

決算書の34、35ページをお開きください。1項、1目、民生費国庫負担金。収入済額4億6,513万6,450円。主なものは障害者自立支援給付費国庫負担金や児童手当国庫負担金などです。次に、36、37ページをお開きください。3目、災害復旧費国庫負担金。収入済額748万7,000円。同じく3目、災害復旧費国庫負担金繰越明許。収入済額8,488万円。いずれも公共土木施設災害復旧費国庫負担金です。

2項、1目、総務費国庫補助金。収入済額1億8,125万7,000円。主なものは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。次に38、39ページを御覧ください。同じく1目、総務費国庫補助金繰越明許。収入済額1億1,254万2,000円。こちらも主な内容は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。2目、民生費国庫補助金。収入済額8億9,698万3,067円。主なものは子どものための教育・保育給付交付金や子育て世帯臨時特別給付金給付事業補助金などになります。次に、40、41ページを御覧ください。3目、衛生費国庫補助金。収入済額643万3,000円。主なものは小型合併処理浄化槽設置事業補助金です。4目、農林水産業費国庫補助金。収入済額7,955万1,000円。地籍調査費国庫補助金や地方創生道整備推進交付金になります。5目、土木費国庫補助金。収入済額1億5,840万6,000円。主なものは道路メンテナンス事業補助金や災害公営住宅家賃低廉化補助金です。それから42、43ページをお願いします。同じく5目、土木費国庫補助金繰越明許。収入済額1億4,101万1,000円。主なものは社会資本整備総合交付金です。同じく5目、土木費国庫補助金事故繰越。収入済額5,783万2,736円。大規模盛土造成地滑動崩落防止事業補助金です。次に、6目、教育費国庫補助金。収入済額1,648万5,500円。主なものは文化施設感染拡大予防等事業補助金などになります。次に44、45ページをお願いします。同じく6目、教育費国庫補助金繰越明許。収入済額6,443万5,000円。主なものは公立学校情報機器整備費補助金などです。

3項、1目、総務費委託金。収入済額23万1,569円。主なものは中長期在留者住居地届出等事務委託費です。2目、民生費委託金。収入済額484万1,282円。主なものは基礎年金事務委託金などです。3目、土木費委託金。収入済額265万1,329円。樋門管理委託金です。

続いて、16款、県支出金です。46、47ページをお願いします。1項、1目、民生費県

負担金。収入済額4億6,419万8,175円。主なものは子どものための教育・保育給付交付金、国民健康保険基盤安定負担金、障害者自立支援給付費県負担金などになります。2目、衛生費県負担金繰越明許。収入済額1億1,037万7,179円。新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金です。3目、農林水産業費県負担金。収入済額721万2,543円。主なものは、48、49ページをお願いします。農林水産業施設災害復旧費事業費負担金などです。同じく3目、農林水産業費県負担金繰越明許。収入済額501万6,000円。農林水産業施設災害復旧事業費負担金です。4目、災害復旧費県負担金。収入済額7,116万8,293円。同じく4目、災害復旧費県負担金繰越明許。収入済額8,350万129円。同じく4目、災害復旧費県負担金事故繰越。収入済額7,636万8,517円。いずれも農地農業用施設災害復旧費負担金です。

次に、50、51ページをお願いします。2項、1目、総務費県補助金。収入済額1億3,497万円です。主なものは平成28年熊本地震復興基金交付金です。2目、民生費県補助金。収入済額8,365万9,552円。主なものは重度心身障害者医療費補助金、子ども・子育て支援交付金、熊本県地域医療介護総合確保基金事業補助金などになります。3目、衛生費県補助金。収入済額4,543万4,000円。54、55ページをお願いします。主なものは新型コロナウイルスワクチン接種事業費補助金です。同じく3目、衛生費県補助金繰越明許。収入済額4,849万7,000円。こちらも新型コロナウイルスワクチン接種事業費補助金です。4目、農林水産業費県補助金。収入済額1億5,361万2,008円。主なものは中山間地域等直接支払い交付金、山地生産基盤パワーアップ事業補助金、地籍調査事業補助金などです。56、57ページをお願いします。同じく4目、農林水産業費県補助金繰越明許。収入済額1,996万5,000円。ため池ハザードマップ作成業務補助金となります。5目、商工費県補助金。収入済額26万5,000円。熊本県消費者行政強化事業補助金です。6目、教育費県補助金。収入済額149万9,000円。主なものは地域と学校の連携、共同体制構築費補助事業補助金です。7目、土木費県補助金。収入済額22万6,000円。木造住宅耐震改修等補助金です。

3項、1目、総務費委託金。収入済額3,591万3,037円。58、59ページをお願いします。主なものは県民税徴収委託金などになります。2目、農林水産業費委託金。収入済額822万5,240円。主なものは県営天君農地防災ダム管理委託金です。4目、土木費委託金。収入済額50万円。矢形川雑草処理業務委託金です。5目、教育費委託金。収入済額123万5,000円です。町内遺跡発掘調査事業委託金になります。6目、民生費委託金繰越明許。収入済額1,203万7,342円。熊本地震災害に係る災害救助法適用事業委託金になります。

続いて、17款、財産収入です。60、61ページをお願いします。1項、1目、財産貸付収入。収入済額125万8,523円。主なものは土地、建物、貸付収入となります。2目、利子及び配当金。収入済額13万8,584円。各種基金利子になります。

2項、1目、不動産売払収入。収入済額153万6,667円。土地売払収入になります。

以上で、15款、国庫支出金から17款、財産収入までの説明を終わります。

○議長（池田浩二君） これより11時15分まで休憩いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前11時06分 休憩

午前11時15分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（池田浩二君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

質疑を行います。15款、国庫支出金から17款、財産収入までについて、質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

続いて、18款、寄附金から22款、町債までの説明を求めます。

○企画財政課長（本田隆裕君） それでは、続きまして18款、寄附金から説明します。決算書の60、61ページをお願いします。1項、1目、一般寄附金。収入済額25億3,936万1,500円。主なものはふるさと納税寄附金です。62、63ページをお願いします。4目、教育費寄附金。収入済額5万5,460円。恐竜博物館寄附金になります。

19款、繰入金。1項、1目、特別会計繰入金。収入済額950万4,587円。主なものは介護保険事業特別会計からの精算返納金になります。

2項、1目、財政調整基金繰入金。収入済額6,394万5,000円です。5目、減債基金繰入金。収入済額1,120万円です。10目、ふるさと応援基金繰入金。収入済額7億2,855万9,318円です。同じく10目、ふるさと応援基金繰入金繰越明許。収入済額5,745万4,205円です。64、65ページをお願いします。11目、平成28年熊本地震復興基金繰入金。収入済額5,669万759円です。同じく11目、平成28年熊本地震復興基金繰入金繰越明許。収入済額473万円です。13目、公共施設等整備基金繰入金。収入済額434万3,000円です。

20款、繰越金。1項、1目、繰越金。収入済額4億2,367万9,478円です。同じく1目、

繰越金繰越明許。収入済額 1 億243万4,000円です。同じく 1 目、繰越金事故繰越。収入済額 3 万8,851円になります。

66、67ページをお願いします。21款、諸収入。1 項、1 目、延滞金。収入済額156万2,694円。町税の延滞金になります。

2 項、1 目、町預金利子。収入済額 2 万184円です。定期預金と普通預金利子になります。

3 項、1 目、災害援護資金貸付収入。収入済額226万5,091円です。

4 項、1 目、農業者年金業務委託金。収入済額25万4,600円です。5 目、農地中間管理機構特例事業業務委託金。収入済額 4 万3,000円です。

68、69ページをお願いします。5 項、1 目、弁償金。収入済額はありません。3 目、過年度収入。収入済額3,443万8,483円。主なものは令和 2 年度子どものための教育・保育給付交付金や後期高齢者医療給付費負担金精算交付金などです。4 目、雑入。収入済額 1 億1,985万5,707円です。主なものは、70、71ページをお願いします。派遣職員給与等返納や熊本地震災害に係る公有建物災害見舞金などです。

72、73ページをお願いします。22款、町債。1 項、1 目、総務債。収入済額2,870万円。保健センター屋上防水改良事業債です。2 目、農林債。収入済額3,730万円。主なものは広域農道整備事業債などです。同じく 2 目、農林債繰越明許。収入済額620万円。緊急自然災害防止対策事業債になります。74、75ページをお願いします。3 目、土木債。収入済額9,270万円。主なものは公営住宅ストック改善事業の起債や緊急しゅんせつ推進事業債などです。同じく 3 目、土木債繰越明許。収入済額 1 億530万円。主なものは道路橋梁整備事業債です。4 目、消防債。収入済額1,430万円。積載車及び小型ポンプの購入に係る消防施設整備事業債になります。同じく 4 目、消防債繰越明許。収入済額1,600万円。消防詰所建設に係る消防施設整備事業債になります。5 目、臨時財政対策債。収入済額 2 億4,975万8,000円です。76、77ページをお願いします。6 目、災害復旧事業債。収入済額 230万円。主なものは公共土木施設災害復旧費事業債です。同じく 6 目、災害復旧事業債繰越明許。収入済額4,260万円。主なものは公共土木施設災害復旧費事業債です。同じく 6 目、災害復旧事業債繰越明許。収入済額5,780万円。大規模盛土造成地滑動崩落防止事業債です。7 目、教育債繰越明許。収入済額2,860万円。学校教育施設等整備事業債です。

以上で、18款、寄附金から22款、町債までの説明を終わります。

以上、歳入合計、令和3年度一般会計収入済額144億8,214万1,211円になりました。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。18款、寄附金から22款、町債までについて、質疑はありませんか。

○11番（藤川博和君） 77ページの、歳入の合計の収入未済額の15億6,000万円の説明を御願いたします。1億5,000万円です。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

77ページの歳入合計のところの収入未済額の1億5,500万円のところと思います。各事業の予算に対しまして、実際収入したものを引いた、翌年に繰り越す予定よりも入ってこなかった部分の額になります。

○11番（藤川博和君） その内訳はわかりますか。例えば弁済費に1億どれだけかあったでしょう、この70何ページか。雑入の弁償額ですかね、これに1億円ばかりあるですね。この内容です。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

こちらはバイオマス損害賠償請求事件に係ります損害賠償金ということになります。

○11番（藤川博和君） 今現在、どういう状況になっているのですか。そのバイオマスに対する支払いです。請求とか、ああいうのは。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

現在2名の方の損害賠償金がありまして、別役氏が1,462万9,679円です。山本氏の損害賠償金が9,279万3,000円となっております。現在も回収したいので、督促あたりを発送しておりますけれども、両者から入金がないという状況であります。

○11番（藤川博和君） ただ入金がないだけでなく、弁護士も立てておりますでしょう。だからその状況あたりはどうなっているとですか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

こちら弁護士とも相談しながら進めております。今年度になりますけれども、両者の方の預貯金あたりを差し押さえるという手続を今踏んでいるところです。

○11番（藤川博和君） 今、本年度と言われたけれども、来年の3月までありますね。大体目安として、今年中か来年度になるのか。そうすると、それに対する、要は利子も相当かかっているでしょう。総額が相当大きくなっていると思いますけれども。大体现在の利子も加えたところの金額はどのようになるとるのですか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

利子といたしますか、遅延損害金という形で計算をいたしますけれども、令和4年8月31日現在で計算をしておりますけれども、別役氏が847万9,201円、山本氏が5,374万3,671円となっております。

○11番（藤川博和君） この問題は相当長くかかっておりますので、一日も早く解決できるようにお願いいたします。

○2番（井藤はづき君） 同じところなんですけれども、これって時効みたいなのはあるのでしょうか。もしあるとしたら、いつになるのか、教えてください。

○商工観光課長（河地克敏君） こちらにつきまして、時効につきましては、あると認識しているところです。

失礼いたしました。追加で説明させていただきます。時効はあるんですけれども、本町から裁判所に申し立てれば、また時効が延びることになります。

○2番（井藤はづき君） では、現時点での時効となるのがいつなのかというのと、延長するためにはいつから手続を始めなければならないのかというのを伺います。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

手元に時効の日取り等の資料がございませんので、後ほど回答させていただきます。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

○4番（福本 悟君） 2点について伺います。まず、61ページのふるさと納税寄附金の25億3,455万6,500円。こちらですけれども、4つの事業があるかと思っておりますけれども、それぞれの事業に幾ら入っているのか、伺いたいと思います。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

まず、町長が必要と認める事項ということで1つありますが、これについては13億3,948万500円。それから子育て支援教育に関する事項につきましては8億5,193万7,500円。次に、安全で快適な環境づくりに関する事項につきましては1億6,641万4,000円。最後に、地域振興に関する事項につきましては1億7,672万4,500円。以上、合計で25億3,455万6,500円になります。

○4番（福本 悟君） では次の質問に入ります。63ページになります。繰入金ですけれども、この中にふるさと応援基金繰入金として7億2,855万9,318円、こちらですけれども、先ほどの4つの事業、どの事業に幾ら繰り入れてあるのか説明をお願いします。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

まず、町長が必要と認める事項に繰り入れたものですが、2億6,906万3,797円です。次に、子育て支援教育に関する事項3億3,511万1,324円。次に、安全で快適な環境づくりに関する事項につきましては5,624万724円。次に、地域振興に関する件ですが、6,814万3,473円、以上合計しまして7億2,855万9,318円となります。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

○9番（福永 啓君） 先ほどの質問と関連で、賠償金のことですが、まず、1個人に対して800万円と5,000万円の賠償金の遅延損害金が発生しているということです。そして、その遅延損害金なんですけど、これは町が、もう既に合法的に、もしその人が実際にお金を持っていたらばっとでも取れるような、ある意味町の財産なのですが、前回も実はちょっとお聞きしたんですけども、それが6,000万円近くになる、6,000万円を超える債権を町が持っているのに等しいと思うんですが。それがこの決算書のどこに出ているのかなというところなんです。出てきていない場合は、なぜ載せないのか、載せない根拠、そのあたりを御説明お願いいたします。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

こちらの遅延損害金につきましては、予算書上も決算書上も数字は上がっていないということになります。理由としましては2つあります。まず、この遅延損害金というのが元本を完納したときに初めて金額が確定するというものでありますので、まだ完納されていない状況ですので上げてないということです。

もう1つが、財政部局とも協議したんですけども、一応税法に定める取扱いと同様に取り扱いすることとしておりますので、督促手数料であったりとか、そういったものも予算化しておりませんので、同様に予算化していないという状況であります。

○9番（福永 啓君） これは町の一般的事務においても、督促手数料というのは100円とか200円とかかかってきますし、その他期限内までに納めなければ発生する、町民の方に新たに請求するお金がありますよね。もう条例で決まっていますけれども、そのお金も同じように予算も決算も、どこにもこれには上げていないということではよろしいでしょうか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

税の延滞金等もということですか。ほかの延滞金もということですか。はい。

一応、財政部局ともお話をしているんですけども、税法上での取扱いと同様にして

おりまして、予算化はほかのところも予算化はしていないという状況になります。

○9番（福永 啓君） その取扱いで公会計上は適切な処理であると考えてよろしいですか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

適正かどうかというのはまた別の議論になるのかなと思うんですけども、一応、会計上はこのような取扱いでやっているというところになります。

○7番（森田優二君） 2点ほどです。まず71ページ、ここに恐竜グッズの販売収入ということで、約1,600万円ほど出ております。まだ歳出のほうは言ってないんですけども、歳出のほうを見ると、原材料費1,100万円ほど、これは歳出の279ページです。に計上してあります。今までは、大体原材料費に2割から3割掛けて販売をしてあったんですけども、これを計算するとそれ以上になっているんですよ。そこらあたり、何で今回は掛率を高くしたのか説明をお願いします。

○社会教育課長（緒方良成君） お答えします。

このグッズ販売につきましては、品物によりまして掛率というのがまちまちになってまいりますので、一概に2割、3割という掛率というものではありません。

○7番（森田優二君） 今の説明だったら、ではある品物は5割以上の掛率だったということもあるんですか。ちょっと今の答弁はおかしいなと思ったんですけども、そこらあたり、私が今言ったように、5割以上の掛率もありますか。

○社会教育課長（緒方良成君） お答えします。

5割以上の掛率というのはございません。

○7番（森田優二君） この項目を見ると、一応雑入になっております。雑入の中身を見ると、使用料とか手数料とか、販売というのは全然ないんですよ。これだけなんです。昨日も一般質問で言ったんですけども、やはり原材料費で今までもしてありますけれども、要するにグッズを、グッズ販売用のを仕入れて、それに3割以上掛けて、そして販売をしているというのは完全にわかっているんですよ。昨日も言って、今後どうされるかわかりませんが、やはりこれは見直しが必要だと思います。

それともう1つです。同じく71ページに特別展開催負担金の返戻金として500万円ほど上がっております。この説明をお願いします。

○社会教育課長（緒方良成君） お答えします。

この500万円分ですが、これは令和2年度の春に特別展を開催する予定でした。令和

3年3月からの開催予定でありました。実行委員会で開催をするという予定で進めておりましたが、負担金も実行委員会に振り込んだんですが、途中でコロナで中止となりましたので、その精算が4月以降になったということで、この雑入として500万円を計上しているものであります。

○7番（森田優二君） 整理させてください。ということは、この500万円は、令和2年度にすることができなかったから、令和3年度に払い戻しをしたということですか。なるほどですね。ということは、令和3年度に1,500万円ほど、特別展の負担金が予算が出ているんですけども、それはどうなっているんですか。

○社会教育課長（緒方良成君） お答えします。

令和3年度につきましては、特別展は夏と春になりますが、これはどちらも中止となっておりますので落としております。

○7番（森田優二君） どこで落としてあるのですか。

○社会教育課長（緒方良成君） これは支出のところになります。

○7番（森田優二君） 支出のところ落としているということですね。では、また支出のところ質問をします。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

次に、一般会計の歳出について、担当課長の説明を款・項・目の順に求めます。1款、議会費、2款、総務費の説明を求めます。

○総務課長（野口壮一君） 決算書の78ページ、79ページをお願いします。1款、議会費。1項、1目、議会費です。支出済額は1億34万2,288円です。主なものは1節、報酬から4節、共済費までの議員14名及び職員3名分の人件費です。このほか10節、需用費の議会広報あおぞらの印刷製本費として156万9,933円、80、81ページをお願いします。12節、委託料。議会会議録作成委託料125万5,686円、先進地視察研修業務委託料135万8,196円です。18節、負担金補助及び交付金、政務活動費交付金114万8,646円です。同じく1目、議会費繰越明許。17節、備品購入費のタブレット端末購入434万6,100円です。

次に、2款、総務費。1項、総務管理費。1目、一般管理費です。支出済額3億7,331万7,167円です。主なものは1節、報酬から4節、共済費までの職員31名分の人件費並び

に負担金、協賛金などです。84、85ページをお願いします。12節、委託料。81行政区の区長への御船町区長委託料2,607万4,300円。18節、負担金補助及び交付金。上益城広域連合負担金1,117万7,000円です。熊本県との人事交流に係る本庁への派遣職員人件費負担金700万7,262円です。86、87ページをお願いします。

2目、文書広報費。支出済額は1,810万9,852円です。主なものは10節、需用費の広報みふね印刷費498万9,648円。例規集追録代532万3,076円。13節、使用料及び賃借料の例規集検索システム使用料155万6,280円です。

3目、財産管理費。支出済額19億4,192万7,851円です。主なものは、90、91ページをお願いします。12節、委託料の固定資産台帳整備支援業務委託料506万4,400円です。それから、第2分庁舎工事管理業務委託501万6,000円。14節、工事請負費のコロナ対策として第2分庁舎改修工事3,284万6,030円です。92、93ページをお願いします。24節、積立金。8基金への積立金です。同じく3目、財産管理費繰越明許。支出済額550万円です。主なものは12節、委託料の本庁舎外壁等改修工事調査設計委託料473万円です。

説明を替わります。

○企画財政課長（本田隆裕君） 同じく92、93ページになります。4目、企画費。支出済額6,459万3,652円です。主なものは95ページをお願いします。18節、負担金補助及び交付金で地方バス運行等特別対策補助金3,142万6,000円。コミュニティバス運行補助金1,398万8,000円です。4目、企画費繰越明許。支出済額798万3,800円です。主なものは12節、委託料でSNS情報発信体制整備業務委託料715万円です。

5目、地域振興費。支出済額5,821万1,470円です。主なものは7節、報償費の地域おこし協力隊謝金2,452万5,000円。97ページをお願いします。18節、負担金補助及び交付金の地域おこし協力隊活動補助金1,733万3,969円になります。5目、地域振興費繰越明許。支出済額385万円です。お試し移住ツアー委託料になります。

○総務課長（野口壮一君） 98、99ページをお願いします。6目、交通安全対策費。支出済額1,473万607円です。主なものは10節、需用費の防犯灯電気料720万2,360円。14節、工事請負費。ガードレール設置工事請負費351万1,200円です。

7目、電子計算費。支出済額8,899万676円です。100、101ページをお願いします。主なものは12節、委託料の総合行政システム保守委託料1,277万5,356円。住民基本台帳ネットワーク保守委託料211万5,080円。13節、使用料及び賃借料の各種システムソフトの使用

料2,680万804円です。総合行政システムリース料1,818万5,088円です。14節、工事請負費。サイバー室空調改修工事の請負費484万円です。102、103ページをお願いします。

8目、職員厚生費。支出済額488万3,009円です。主なものは12節、委託料の職員健康診断委託料402万4,634円です。

9目、諸費。支出済額120万4,522円です。主なものは18節、負担金補助及び交付金。御船地区防犯協会負担金110万5,600円です。

説明を替わります。

○**商工観光課長（河地克敏君）** 同じく102ページ、103ページになります。10目、企業誘致費です。支出済額6,293万697円です。主な支出は12節、委託料。企業誘致アドバイザー支援業務委託171万500円です。次に104、105ページをお願いします。18節、負担金補助及び交付金の企業立地促進補助金6,000万円になります。

これで説明を終わります。

○**会計管理者（田中智徳君）** 同じく104、105ページ、20目、会計管理費になります。支出済額448万1,601円です。主なものは11節、役務費の納付書読込手数料で103万139円、並びに各銀行窓口においての収納受付手数料が32万9,065円になります。次に、12節、委託料で、指定金融機関肥後銀行御船町役場内派出所委託料の273万6,800円になります。

説明を替わります。

○**企画財政課長（本田隆裕君）** 同じく104、105ページになります。22目、ふるさと納税推進費。支出済額15億2,190万5,393円です。主なものは11節、役務費のポータルサイト等利用手数料2億7,465万408円。それから12節、委託料の支援サービス業務委託料12億3,314万380円です。

説明を替わります。

○**町民税務課長（畑野英樹君）** 同じく106、107ページをお願いします。2項、徴税費。1目、税務総務費。支出済額9,205万7,754円です。人件費のほか主なものは、11節、役務費の通信運搬費。納付書等の後納郵便料金としまして440万1,177円と、108、109ページをお願いします。12節、委託料。固定資産課税措置評価業務委託料の1,062万6,000円と、固定資産課税家屋評価業務委託料の390万4,657円です。

2目、賦課徴収費。支出済額866万1,329円です。110、111ページをお願いします。主なものは22節の償還金利子及び割引料。徴税還付金としまして633万3,331円です。

以上で、徴税費の説明を終わります。

次に、3項、1目、戸籍住民基本台帳費です。支出済額3,940万53円です。112、113ページをお願いします。人件費のほか、主なものは18節、負担金補助及び交付金の通知カード個人番号カード関連事務委任に係る負担金545万3,400円です。

以上で、戸籍住民基本台帳費の説明を終わります。

○総務課長（野口壮一君） 112ページから115ページをお願いします。4項、選挙費。1目、選挙管理委員会費。支出済額は516万1,102円です。主なものは選挙管理委員会委員報酬と職員1名の人件費です。

2目、選挙啓発費。支出済額3万1,320円です。主なものは10節、需用費の消耗品費です。

6目、衆議院議員選挙費。支出済額953万8,156円です。主なものは3節、職員手当等の投開票事務に従事する職員の時間外勤務手当476万6,901円。116、117ページをお願いします。12節、委託料のポスター掲示制作設置委託料181万6,716円です。

説明を終わります。

○企画財政課長（本田隆裕君） 続きまして、5項、統計調査費。116、117ページをお願いします。1目、統計調査総務費。支出済額4万1,243円。消耗品や負担金です。

2目、学校基本調査費。支出済額1万406円。消耗品費になります。

20目、経済センサス活動調査費。支出済額80万9,181円。主なものは1節、報酬の調査員報酬となります。

21目、経済センサス調査区設定費。支出済額4,338円。消耗品費になります。

○総務課長（野口壮一君） 6項、監査委員費。1目、監査委員費です。支出済額127万3,926円です。主なものは1節、報酬の監査委員報酬になります。

以上で、1款、議会費、2款、総務費の説明を終わります。

○議長（池田浩二君） これより、1時5分まで休憩します。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後0時03分 休憩

午後1時05分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（池田浩二君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

執行部の発言を許します。

○商工観光課長（河地克敏君） 先ほど、藤川議員からの質問につきまして、令和4年度での弁護士委託による現時点での進捗につきましてお答えしましたが、一部訂正させていただきます。債権者の両方に対しまして、預貯金の差し押さえを実施しているとお答えしましたが、正しくは山本氏のみとなります。訂正してお詫び申し上げます。

次に、井藤議員からの時効の質問につきまして、改めて回答させていただきます。

まず、山本氏の時効の起算日は、上告棄却されました令和2年7月17日から数えて10年間となりますけれども、今年度に入りまして、令和4年6月4日に債権差押命令を熊本地裁から債権者である山本氏へ通達されています。これによりまして、時効期限が10年となりまして、現時点では令和14年6月3日までとなります。

次に、別役氏の時効の起算日は、判決が出ました平成25年9月12日から数えて10年間となりまして、令和5年9月11日までとなります。この期間までに訴訟を起こすことで、時効が10年間延長されますが、債務者の別役氏が行方不明となっております、弁護士を通じて行き先を調べる準備を検討中でございます。

○議長（池田浩二君） 藤川議員、よろしいですか。

2番、井藤議員。

○2番（井藤はづき君） はい、わかりました。今、行方不明ということですから、このまま見つからなければ、この時効をもって回収ができなくなるということになるのでしょうか。

○商工観光課長（河地克敏君） 先ほどお答えしたとおり、訴訟を起こすということになりますと、相手方が必要ということになりますので、このまま見つからないということであれば、時効を迎えてしまうということになります。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。1款、議会費。2款、総務費について、質疑はありませんか。

○2番（井藤はづき君） まず、今の件の続きにはなるんですけれども、たしか令和4年の当初予算では弁護士費用というものが上がってきていたと思うんですけれども、これは令和3年度では弁護士費用というものはなかったのでしょうか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

令和3年度につきましては、特に動きがありませんでしたので、弁護士費用というの

は発生しておりません。

○2番（井藤はづき君） そうしましたら、それも含めてなんですけれども、これまでに、この竹バイオマス関連のために要した費用というのは、これまでにどのくらいかかっているのでしょうか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

訴訟が始まりました平成22年度から令和2年度までの合計をしましたところ、3,684万6,561円となっております。

○2番（井藤はづき君） そうしましたら、結構な額がこの件について関わってきていると思います。

続きまして94ページ、公共交通に関する補助金のところなんですけれども、過去5年間の推移、これは1万円未満は切り捨てていただいているんですけれども、5年間の推移を説明ください。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

地域公共交通関係の補助金としましては、地方バス運行等特別対策補助金は、熊本バスと産交バス、それからコミュニティバス運行補助金、麻生交通になります。それから地域公共交通経営支援補助金ということで、コロナ対策補助金を活用した支援を行いましたので、この3つの補助金を合わせた額で年度別に申し上げたいと思います。

まず、平成29年度3,426万8,000円、平成30年度2,474万3,000円、令和元年度2,346万4,000円、令和2年度2,922万5,000円、令和3年度4,956万4,000円、5年間の合計としましては1億6,126万4,000円となりました。

○2番（井藤はづき君） コロナの影響もありまして、かなり増えてきている状況かと思えます。この後、コロナが収束に向かって、その後回復がどの程度見込めるのかというのと、目指すべき補助金の額をこのくらいまでは減らしていきたいとか、そういった目標があればお伺いします。

○企画財政課長（本田隆裕君） 当面は、この現行どおりのこの要綱等で補助を出してまいりたいと思います。今後の地域公共交通の状況をかんがみまして、地域公共交通活性化協議会とか、こういったいろんな協議会等の意見をお聞きしながら、また制度については見直していきたいと思います。

○2番（井藤はづき君） 令和3年度で5,000万円ほど出ていて、そのうちの400万円ほどがコ

ロナ対策ということですが、4,500万円ほどが補助金として出ていると。今後もこの程度の金額が補助金として見込まれるのか、継続して補助金を出していかなければいけないというふうに見込んでおられますか。

○企画財政課長（本田隆裕君） 特に何か制度を改正しない限りは、この水準で補助をしていきたいと思っております。

○2番（井藤はづき君） では、ぜひ今度の公共交通改革でできるだけ抑えられるように、活性化を図っていただきたいと思います。

続きまして98ページ、電子計算費がありますけれども、この令和3年度、例年に比べて、だんだん上がってきたものが1回下がっているように見えます。繰越明許が4,000万円ほどありますけれども、まずはこの説明をお願いします。

○総務課長（野口壮一君） 令和2年度の決算と比較すると、令和3年度のほうが決算が落ちております。理由として、令和2年度が社会保障の税番号制度、マイナンバーカードによる国外転出者の利用に関するシステムの改修があったと。それから自治体中間サーバー更新に伴うシステム機器の入替作業を実施したために、令和2年のほうの決算が大きくて、令和3年度はそういうものがなかったということで、令和3年度のほうが減少をしております。

それから、繰越金の件なのですが、これは情報通信基盤施設運営になります光ネットワークの民間移行に関する、いわゆる受入れでありますQTネットへの補助金の情報特会への繰出金となります。令和4年度末までに民間移行业務を完了し、令和5年4月から完全に民設民営による運営を現在開始しております。今スケジュールを、当初に立てたとおりに、予定どおりに今民間移行に向けての事業作業が進められているという現状です。

○2番（井藤はづき君） そうしましたら、その繰出金を除いたとしても、今年度は電子計算費が下がったということになりますけれども、今後の見込みとして、このままこの落ち着いたままいけるのか、それともまた上がってってしまうのか、そういったところはどのように見込んでおられますか。

○総務課長（野口壮一君） 議会でも何回も説明をしております。システムあたりの変更を、高い費用でなっているのが、何回も指摘をされている中で、令和7年度末までに全自治体で国が示す標準システムに準拠したシステムへの移行を計画してあります。これらに関する既存のシステムの調査費用、それから改修で増加が見込まれてきます。国からのシステ

ム標準化仕様が随時公開されていますが、現段階で、どのくらいの費用がかかってくるかというのは現時点では今未定という形になっております。

○2番（井藤はづき君） そうしましたら、標準システムへの移行に係る経費がこれからかかってくと。その移行が終わった後は、また経費が押さえられるということになるのでしょうか。

○総務課長（野口壮一君） これは、やはり全自治体、各々システム会社と契約をして今行政システムを動かしているわけですが、全自治体が同じような悩みを抱えていらっしゃるというのが現実です。今回の国が示す標準化システムに移行するものは、そういう課題を解決する、いわゆる費用を含めたところですけど、その辺を解決するものを目指した取組みになっております。ですので、今後の令和7年度以降から少しずつそういうシステムの利用率というのは下がってくるというのが見込まれています。

○企画財政課長（本田隆裕君） 先ほどの井藤議員の質疑の中で、地方バス運行等特別対策補助金のことも言いましたが、この補助金が、町の負担分については特別交付税が8割程度措置されますので、申し添えます。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

○10番（田上 忍君） 私は成果説明書からいかせてもらいます。11ページです。ここで危険箇所の防犯対策事業ということで述べられていますが、ガードレールについては、今回3カ所設置されているんですけども、まだ設置しないと危険な場所というのはあるのでしょうか。

○総務課長（野口壮一君） 地域からのガードレールの設置要望箇所というのはまだあります。それと、通学路の安全点検等時においても、ガードレールの設置等の要望もあります。今回の議会にも提出しておりますけれども、通学路点検地区に伴うガードレール設置の補正予算を出させていただいているというところです。

一応年度年度計画を立てて、地域からの要望等について対応しているというところです。道路改良とかある場合には、最初から建設課でガードレールと一緒に設置をしていくというものの対応をしております。

○10番（田上 忍君） そうしましたら、粒麦のガードレールは、たしかまだ仮で付けてあるのではないかと思ったんですけど、あれについては今後どのように考えているんですか。

○総務課長（野口壮一君） あれも災害復旧工事が終わったところで、熊本地震で災害が起き

たところのブロック積でやったところだと思いますけれども、補助事業でやる上で、最初にガードレールが付いてないところを災害復旧をしていたというところで、補助事業としては、新たにその分までの対象にはならないというところで、暫定的に今のガードレールでしてあると思います。今後は、建設課ともそのほうは現地等を立ち合わせていただいて、今後の対応については検討していきたいと考えます。

○10番（田上 忍君） たしか、災害復旧が終わったときに、とりあえず仮でおきますと、その後、ちゃんと付けますよということで、あのとき答弁があっていると思うんですけど、その後何もやってなかったのですか。

○総務課長（野口壮一君） 結果からすれば今の現状になっておりますが、今後協議をさせていただきたいと思います。

○10番（田上 忍君） こうやって常に議会でちゃんと答弁していることについては、実行していてももらいたいと思います。

続いて、19ページ、成果説明書です。ここで企業誘致事業の中で、この実績に書いてあります。町の認知度効率上及び交流人口を図ることを目的としてということで、これはCOLAS・MIFUNEですかね、こうやって認知度をアップしていこうということで、やっておられると思いますが、どれだけ認知度アップができたと思いますか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

令和3年2月から、その年のゴールデンウィーク明けまで、コストコに入る交差点に横断幕を掲げて、COLAS・MIFUNEを周知しております。そのほか、ホームページそれから広報紙への掲載を実施しているところです。コストコには県内外から多くの方が訪れていらっしゃるし、横断幕を設置した際に、電話等での問い合わせもあっておりますので、一定の認知度向上につながっているのではないかなと感じているところです。

○10番（田上 忍君） では、コストコに来た方はある程度見たかもしれないということだと思うんですが、実際、御船の町民の方にこの認知度というのは上がっているのでしょうか。みんな知っているのでしょうか。その辺は何か統計とか何か調査とかやっていますか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

COLAS・MIFUNEにつきまして、住民調査等は実施しておりません。御指摘のとおり、まだまだ認知度が低いのかなという感想もありますので、今後、広く認知して

いただけるようにやっていきたいと思えます。

○10番（田上 忍君） やはり、自分たちがまず知らないことには情報発信もできないし、やはり町民がまず知ることが大事かなと思えます。何かその辺をこれから一緒になって考えていかなければいけないと思えますから、何かやってほしいと思うんですが、何か考えはありますか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

COLAS・MIFUNEにつきましては、認知度を向上させるために、すぐ隣にできていますネットヨタ、それから集合住宅も建っていると思うんですけど、そちらにCOLAS・MIFUNEという名称を使っていだけないかということで御相談をしているところです。

○5番（田上英司君） 決算書の95ページになると思えますが、この上のほうに、地方バス補助金とかコミュニティバス補助金ということで、結構な金額が補助されているようですが、お願いなんです、私は小坂校区に居住しております。ここにはバスがありません。小坂校区は相当数の世帯がありまして、私の小さな万ヶ瀬という集落だけでも100軒、今また高速道路沿いに団地ができておりますので、御船町は聞くところによりますと、高齢化を当然迎えておるんですが、小坂校区だけは人口が増えているんです。小坂小学校の通りにバスも走らないし、私たちは生活圏は嘉島です、小坂校区の人間は。町の活性化と格好いい言葉がありますが、病院、買物全て嘉島です。高齢化を迎える中で、うちの家族ももう免許証は返納しましたが、バスに頼っているわけです。必ずや要望が出るのではないかと思いますので、ぜひとも前向きな検討をお願いしたいと思っています。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

先日の一般質問の中でも少し御説明を申し上げましたが、御船町の地域公共交通計画というものができました。これに基づいて、今後地区懇談会等も今から進めていきます。その中で、地域の声をしっかり拾って、少しでも不便が解消されるように路線の再編だったりとか、そういったことに検討を進めていければと思っておりますので、また今後、地域公共交通のほうをしっかりと進めていきます。

○6番（増田安至君） 決算審議書の95ページ、同じページのSNS情報発信体制整備事業委託料、これは何人のメンバーで、どのような内容を今現在されているのか教えてください。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

S N S 情報発信体制整備事業委託料ですけれども、こちらは御船町からYouTube等を発信したいということで、そういった撮影の機材あたり、それから録音する機材です。それからインターネットに発信する機材等を整備した事業ということになります。

○6番（増田安至君） 昨日一般質問の中でも出てきたYouTubeの撮影の一環という内容ですね、わかりました。

○4番（福本 悟君） 1点についてお尋ねします。97ページになります。この中に行政区再編後運営補助金56万7,486円とあります。内訳の説明を求めたいと思います。併せて、現在の行政区の数についても説明を求めたいと思います。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

まず、この行政区再編後運営補助金の件ですが、この補助金は、1つの再編する行政区に補助金として20万円を限度に、再編後の運営に使ってくださいということで20万円を限度に3年間補助をするものでございます。決算の内訳なんですけど、荒瀬区に20万円、それから迎町区に16万7,486円、本町区に20万円を交付しております。

なお、現在の行政区数は81区です。

○4番（福本 悟君） では、続いてですが、第6期の総合計画、基本計画の中で、行政区再編による令和5年度の目標が74区となっております。目標の達成というのはできるのでしょうか。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

先ほど、現在の行政区が81と申しましたように、なかなか再編が進んでない状況があります。持続的な地域コミュニティの形成のために地域間での再編の検討が進むように、例えば区長会、こういったものなどを通じて説明を重ねていきたいと思っております。

○4番（福本 悟君） では最後の質疑に入ります。この行政区再編後運営補助金です。2-1-5の地域振興費から支出をしてありますが、その一方で、この区長の報酬、委託料と申しますか、こちらは2-1-1の一般管理のほうから支出をされています。どちらも企画財政課が予算担当となっていると思っておりますけれども、もともとはこの一般管理というのは、総務課の担当ではなかったのではないのでしょうか。予算の張り付けが非常にわかりにくい。この区長にとっても、なかなか担当というのが戸惑われたのではないのでしょうか。最後の質疑とさせていただきます。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

御指摘の件につきましては、今事務分担の見直し等も行っている状況がありまして、こういった事務分担の見直し等を踏まえた上で、改善策のほうを検討していきたいと思えます。いずれにしましても、区長の皆様方に御不便をおかけしないように努めてまいりたいと思えます。

○3番（宮川一幸君） 成果説明書でお伺いします。4ページです。公共施設等の総合管理計画変更の事業の変更事業についてお伺いします。5年に一度変えて計画を見直すという形で書いてありますが、今回見直されて公共施設の今後改修の計画、新しくすること、そういった事業が、また新しくなってくる事業がもしあるならお知らせをお願いします。

○総務課長（野口壮一君） 公共施設等の総合管理計画ということで、10年計画を立ててあるわけなんですけど、今回が5年目の中間の折り返しということで、5年に当たったということで、令和3年度で更新をしております。幾つもの町の公共施設です、今後公共施設の管理を平準化していく上で、またかつ財政負担を軽減、平準化することを目的としております。

この見直した総合管理計画によって各施設の、今後の補修をしていく場所また改修をしていく場所あたりを、施設ごとにまとめ上げられております。ですので、あとはこの総合管理計画に基づいて、各施設の担当課等で予算の要求をしていくということになります。

それから、この計画を立てていると、起債の借入時にこれがないと起債の借入れも充当がされないという形になりますので、そういう意味合いを込めて今回更新の作業を行っていたというところなんです。

○3番（宮川一幸君） このことについては、前にもいろいろお話や説明を聞いたかと思うんですが、実際、もともと計画がなくて、こういった形を作らないとやはり起債を借りられないからといった形でお話があったと思えます。計画的に修理等もしながら長寿命を図っていただいて、予算の軽減化を図っていただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

次にもう1件です。成果説明書の6ページですが、御船高校の応援事業なんですけど、これは企業版ふるさと納税についてなのなんですけど、現段階でそういった企業版のふるさと納税というのは御船町に問い合わせとかはあっているのでしょうか、お伺いします。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

問い合わせがあっているかということなんですけど、問い合わせはあまりありません。

この制度がまだまだ広く周知がなっていないといいますか、今後、この制度を通じて、各地方公共団体はまた収入の増を図っていきますので、町としてもこの制度をぜひ広く、各取引する企業あたりに御紹介をしてお力添えをいただきますように働きかけをやっていきたいと思います。

○3番（宮川一幸君） これについては、町からのプレゼンが必要かなと思うので、町のほうも各課で縦断的にいろいろ検討されて、やはり少しでも企業からの補助をいただいて、町が活性化していただければ幸いかと思いますので、職員の方も大変と思いますが、そういった立案等もしながら、町の発展に寄与していただきたいと思います。よろしくお願いします。

○1番（中城峯雄君） 成果説明書の19ページです。企業誘致事業ですけれども、これについては田上忍議員からも質疑がありましたけれども、COLAS・MIFUNEの11ヘクタール、ここにコストコ、小野建、日野出の3企業が大きな建物を建てて、令和3年度に創業を開始しております。この企業誘致の成果についてお尋ねいたします。

町は、雇用促進、定住促進、税収の増加を図るため企業誘致をしますということですが、それぞれどのような成果があったのか。まず1点目は雇用促進ですが、3社でそれぞれ何人の新規雇用がありましたか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

個人情報保護の観点から、それぞれの会社ごとの人数というのは申し上げられませんけれども、町内在住の方の雇用は3社で50人以上となっております。

○1番（中城峯雄君） 企業は、進出するときは、それはなかなか人事権の範ちゅうと言うでしょうけれども、進出するときは地元から何人雇用しますとか言うけれども、それは町で把握されていればいいんですけれども、ちゃんと今度の企業誘致等の見直しにも、雇用奨励金というのがあるでしょう。新規雇用に、町内在住で1人当たり30万円ということで50人いたら1,500万円の費用が。なかなかここら辺はガードが堅いですもんね。それは町でちゃんと把握しとってもらえばいいんですけれども。なかなか私も、地元でもなかなか採用してもらえなかったという人が結構多いですので、気になるところです。

次に、では定住促進ですが、何人または何戸、何世帯定住促進が図られましたか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

先ほど3社で50人以上の雇用があつていまして申しましたけれども、そのうち何組の世帯が本町に定住されたのかというのは、調査できていません。といいますか把握ができないという実情でございます。御理解をいただけたらと思います。

○1番（中城峯雄君） 私も、町民税務課から町の人口実態調査の表をもらいましたけれども、確かに、平坦地区は、地震前まではまだ回復しておりませんが、1万7,000人台は回復しましたよね。地震前までには回復しておりませんが、平坦地区では、前年度比で増加の傾向になっております。ただ、中山間地域の人口減少は、これはもうとても何十％という状況で、ここは課題ですけれども、これを質問していたら切りがなくありますので、ここは今後の課題ということで。

もう1点です。税収増、これがなかなか見えませんが、住民税、固定資産税が増えますということですが、それぞれ幾ら増えたのでしょうか。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

税収の額は幾らかということですが、まず、建ったところはもともと水田だったところに企業が3社立地されていますので、その分の固定資産税、法人税は確実に増加していると言えます。また、先ほど50人以上の雇用があつていまして申しましたけれども、その分の住民税につきましても増加していると言えます。ただ額につきましては、個人情報保護の観点からお答えすることを控えさせていただきたいと思います。御理解いただけたらと思います。

○1番（中城峯雄君） 固定資産税を公表するのは個人情報になりますかね。まあいいです、それは。ただ、人口が増加すると、確実に、私はこの前12日に一般質問をしましたが、水道事業の収入も前年度200万円ぐらい増えて、やはり人口が増加すれば、いろいろなほかにも効果が出てくると思いますので、ぜひ人口増のためにいろんな、企業誘致も進めていっていただきたいということで、終わります。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

○2番（井藤はづき君） 先ほどのSNS情報発信体制整備業務委託料というところなんですけれども、これは以前の答弁の中では、スタジオを造りますというお話だったかと思いますが、そのスタジオはどこにあるのかとか、現状はどのように使用されているのか、説明を求めます。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

YouTubeのスタジオにつきましては、現在候補地を選定しているところで、今年度中に決定したいと考えています。

○2番（井藤はづき君） では、機材関係はもう購入されているということによろしいですか。もしそうであったら、今は全く使用しないで眠っているだけなのか。何か別の方法で使ってもらえるのか、説明をお願いします。

○商工観光課長（河地克敏君） お答えいたします。

機材等につきましては、街なかギャラリーに保管をしております。たびたび名前が出ておりますけれども、ユーチューバーの田上成美さん等がYouTube発信のために機材等を利用して録画をしたり、発信をしたりと使用されているところです。

○9番（福永 啓君） 歳入の部でも包括的な質問ということで質問いたしました関連なのですが、93ページ、財政調整基金の積立てが約4億円ここでされております。先ほどの答弁でちょっと気になったことがあったんですが、財政当局としては、課長としては14億円、これが適切な額であろうということでした。町長は個人的な意見と前置きした上で、18億円、20億円ぐらいは欲しいよねという感じでした。

それで、幾らぐらいが本当に適当なのかと考えたときに、平均額、例えば御船町との類似団体を比べてみますと、14億円ほどの積立金があればほぼ類似団体の平均額となるんです。御船町は全般的に類似団体と比較すれば、財政力等々、財政はあまり好調とは言えない。にもかかわらず、積立金は類似団体と14億円あれば平均になるということですが。

としますと、熊本地震を乗り越えた12億円にさらに2億円積み立てて14億円と。これはやはり御船町として非常に適切な額ではないかなと思うんですが。ですから、これ以上を目指すというよりも、これから先はやはり町民のため、そして皆さんの夢をかなえるために、やはり支出も考えていかなければならない時期ではないかなと思うんですが。再度、答弁をお願いいたします。

○企画財政課長（本田隆裕君） お答えします。

少し数字的な御紹介をしたいと思うんですが、適当と思われる財政調整基金の残高についてなのですが、国の調査によりますと、全国の多くの自治体が標準財政規模の20%を目標にしているということが言われていまして、これが1つの目安になります。

御船町の標準財政規模の20%と申しますと、11億2,800万円程度になります。今現在の財政調整基金の残高が14億円ありますが、この数値ですと、標準財政規模の25.1%になり

ます。さらに、今年度中に4億円積み立てるとして18億円になりますけれども、もし18億円積み立てた場合、標準財政規模に対しては32.3%まで上がっていきます。

こういった数値を御紹介しながらちょっとお答えをするんですが、確かに御指摘のとおり、熊本地震とか、結構これが終わったかと思ったら今度は新型コロナウイルスの感染拡大ということで、各課においてもいろんな事業をしたかったのにできなかったというのが結構あると思います。

今後は、先ほど申しました財政調整基金、18億円ぐらい積立てができるとしまして、おおむね安定したレベルに達していると思いますので、こういった状況を踏まえて、また国の地方財政対策、こういった動向も見ながら、令和5年度の予算編成方針を立てていきたいと思います。

○9番（福永 啓君） 未曾有の災害、熊本地震でも、一時90万円になって大変ハラハラされたと思います。ただ、最終的には7億円まで積み戻すことができました。入る予定のものがあつたわけで、そこは何とか、一借とか何とかは使わずに済んだのですが、使えばまた、そういうときは入る予定のものがあればきちっと12億円あれば御船町の場合は乗り越えられるよねというところがあるとは思いますが。

だから、今御答弁されたみたいに、この14億円、18億円、20億円、20何億円、よその市町村で、女川町とかに行つたときに、たしか90億円ぐらいあつたりしましたよ、あのあたりは。そういう特殊な例もありますけど、やはり御船町の場合は町民のために、また町長も今まで自分の思いがやりたかつたこともあると思うんですよ。それがやれなかつたでしょう。町民も一緒ですよ。そういうことを今から一緒にやっていきませんか。そういう時期ではありませんかという話なんですけど、いかがでしょうか。

○町長（藤木正幸君） 今、私にとっては励ましの御意見だと思っています。やはりあの当時のことを振り返ってみますと、銀行から6億円ほど借り入れたというところもあつて、18億円から20億円というところが出てきたんですけども、しかしながら、今言われるように、やり残したことはたくさんあります。そういったものを今後前向きに取り組んでいかなければいけないと思っていますので、どうぞ御協力のほうをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○10番（田上 忍君） もう1つだけ、成果説明書で18ページです。職員の健康管理というところですが、健康診断の実施率が98%ということですが、なぜ100%になってないのかな

というところで、ちょっと疑問になりました。このあたりの答弁をお願いします。

○総務課長（野口壮一君） 成果説明書の18ページです。この98%というのは、ストレスチェックの実施者という形になります。98%で、残り未実施者の方については、休暇とかそういうものが取られておられる方で、そのときに期間内に実施ができてなかったというところ。健康診断ではなくて、ストレスチェックの実施率ということになります。

○10番（田上 忍君） 健康診断は100%ということで、よろしいですか。

○総務課長（野口壮一君） 健康診断については、この役場でする健康診断もありますし、その年度内に人間ドックを受けていく職員もおります。人間ドックを受けた職員については、結果表を出していただいているという状態です。実施率としては100%となります。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

これより、2時10分まで休憩いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後1時58分 休憩

午後2時10分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（池田浩二君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

次に、3款、民生費について説明を求めます。

○福祉課長（西本和美君） 3款、民生費について説明します。118、119ページをお願いします。1項、社会福祉費。1目、社会福祉総務費。支出済額6億1,257万1,302円。主なものは120、121ページをお願いします。12節、委託料。他機関の協働による包括的支援体制構築事業委託料1,400万7,000円。122、123ページをお願いします。27節、繰出金。介護保険特別会計繰出金介護分3億989万9,000円です。1目、社会福祉総務費繰越明許。支出済額22万円。14節、工事請負費。課の設置替えに伴うLANケーブル移設工事請負費です。

2目、社会福祉施設費。支出済額835万3,718円。主なものは、124、125ページをお願いします。18節、負担金補助及び交付金。社会福祉施設費等感染症対策補助金、コロナ対策56事業所分551万2,797円です。

3目、老人福祉費。支出済額1億3,609万7,838円です。主なものは126、127ページを

お願いします。19節、扶助費。老人ホーム入所措置費 1 億1,363万6,810円です。

5 目、コミュニティーセンター管理費。支出済額172万620円。主なものは12節、委託料。コミュニティーセンター指定管理者指定管理料96万8,000円です。

6 目、障がい者福祉費。支出済額 5 億5,795万7,041円。主なものは、130、131ページをお願いします。上の段、19節、扶助費。障がい福祉サービス費等事業費 3 億5,876万2,450円です。

説明を替わります。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 同じく、130ページ、131ページをお願いします。7 目、国民年金事業費。支出済額468万8,579円です。132、133ページをお願いします。主に人件費と12節、委託料の国民年金システム改修委託料43万5,600円。それと13節、使用料及び賃借料の年金生活者支援給付金システムASP（アプリケーション・サービス・プロバイダー）の使用料14万5,200円です。

8 目、後期高齢者医療費。支出済額 3 億4,445万7,431円です。18節の熊本県後期高齢者医療広域連合会負担金の 2 億7,157万5,892円と、27節、後期高齢者医療事業特別会計繰出金の7,288万1,539円です。

替わります。

○福祉課長（西本和美君） 17目、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費 1 億4,600万円。令和3年度住民税非課税世帯に給付した臨時特別給付金です。18目、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事務費265万7,107円です。主なものは、134、135ページをお願いします。12節、委託料。給付金システム改修委託料149万1,600円です。

説明を替わります。

○子ども未来課長（沖 勝久君） 続いて、2 項、児童福祉費について説明します。1 目、児童福祉総務費。支出済額 1 億9,007万6,868円です。137ページを御覧ください。主なものは12節、放課後児童健全育成事業委託料、全10クラブへの委託料で5,571万210円。並びに、嘉島町、甲佐町3町合同で実施している病児・病後児保育事業委託料804万1,000円。19節、扶助費。中学3年生までを対象とする子ども医療費5,380万8,079円。子育てのための施設等利用給付費502万1,850円は、幼児教育無償化による認可外保育施設等の利用料の一部負担金になります。

139ページを御覧ください。次に、2 目、児童措置費。支出済額 2 億8,701万6,668円で

す。主なものは19節、扶助費の児童手当で2億8,575万5,000円です。

次に、3目、児童福祉施設費。支出済額8億6,683万5,283円です。145ページを御覧ください。主なものは14節、工事請負費。子育てふれあい館、若葉保育園、上野保育園の工事を行い、417万5,600円、また18節、負担金補助及び交付金の私立保育所認定こども園運営費6億6,165万5,634円。町内3園で実施されている障がい児保育事業補助金550万8,000円、新型コロナウイルス感染拡大に伴う児童施設への感染症対策事業補助金353万8,700円です。

次に、4目、ひとり親福祉費。支出済額310万3,827円です。これは12節、巡回支援専門員整備事業委託料です。

次に、10目、子育て世帯臨時特別給付金事業費。支出済額2億8,650万円です。主なものは19節、扶助費の子育て世帯臨時特別給付金です。

次に、11目、子育て世帯臨時特別給付金事務費。支出済額479万9,270円です。主なものは12節、委託料の子育て世帯臨時特別給付金システム改修委託費190万9,600円です。

以上で、2項、児童福祉費についての説明を終わります。

○福祉課長（西本和美君） 続きまして、3項、1目、災害救助費。148、149ページをお願いします。支出済額311万1,489円。主なものは22節、償還金利子及び割引料。災害援護貸付金償還金271万7,548円です。

3款は以上です。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。3款、民生費について質疑はありませんか。

○10番（田上 忍君） 成果説明書からいきます。26ページです。地域医療介護総合確保基金事業補助金の件ですけれども、この補助金を使って、いろんな公民館分館の改修が行われておりますが、たしかこれはサロンの会、サロンを開催するというのが1つの条件だったかと思うんです。全部の分館のこととは言いませんが、高額に補助金を使っているところで、サロンの回数が増えたのかどうか。その辺の答弁をお願いします。

○福祉課長（西本和美君） 大規模な改修をしています3カ所についてお知らせします。まず、東上野につきましては、ここ令和2年、令和3年とコロナ禍により中止を余儀なくされる状況にありましたので、回数については回数、人数ともに、お知らせはしますけれども、なかなかそれで評価しにくいところもあると感じているところです。東上野は、令和2年、回数は6回。令和3年、10回。参加は延べ人数53人、令和3年は88人と増加しております。

古閑迫につきましては、参加回数が令和2年、10回。令和3年、8回。延べ参加人数110人から87人。ただ、こちらにつきましては、このサロン以外にヨガサークルを新たに始めておられます。また、月に3回から4回不定期の会合を地域で開いてくださっております。

下鶴、令和2年が16回。令和3年が22回。延べ参加数、令和2年が194人、令和3年が256人、回数、人数ともに増加しております。また、下鶴につきましては、新たに見守りネットワーク活動を開始されておまして、見守りの強化につながっている状況があります。

○10番（田上 忍君） ということは、この補助金が有効に活用されて、地域のそういう活動も活発になったということですね。はい。

続いて31ページ、学童保育がありますが、今、学童保育の人数、結構多い人数になっております。この中で、4年生から6年生を断っているという学童はありますか。

○こども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

4年生から6年生を断っている学童があるかということですが、そういったお話は聞いておりません。

○10番（田上 忍君） 何か、人数が多いとか、高学年は遠慮してくれとか、そういうのがないかというところを心配したところでは。

続いて、33ページ、病児・病後児の事業がありますけれども、コロナ禍でもまた人数が増えております。この人数が増えている現象について、何か原因等はわかりますか。

○こども未来課長（沖 勝久君） 病児保育が増えていることについての分析ですが、令和2年度中は確かにコロナ禍もありまして利用が少ない状況でした。持ち直したことにしましては、コロナ感染が令和3年度になりますと、一時期収束を見るような時期もございました。そういった時期に利用が増えてきたという部分については、肌感覚で感じているところです。

○10番（田上 忍君） こうやって、人数が令和2年度に比べたらかなり増えております。この委託料というか、補助金というか、これは人数によって出る額というのは、何か増減があるのでしょうか。もともと御船町から出す委託料ではなくて、町に入ってくる補助金のほうですけども。

○こども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

病児保育の委託料につきましては、国・県・町の事業主体で3分の1ずつ負担することになっております。国・県を除いた町負担の部分につきましては、御船町、嘉島町、甲佐町で負担割合を計算して支出をしているところです。利用の人数と均等割という計算方式を使って、利用の負担を計算しております。ちなみに、嘉島町が65万4,000円、甲佐町が51万6,000円、御船町が151万1,000円の負担ということになっております。

○10番（田上 忍君） ではもう1つ、最後の質問ですが、34ページに、アニバーサリーチケットの件があります。これについて、以前に聞いたかもしれないんですけども、御船町民以外でも御船で届出を出せばこれはもらえるということによろしかったですよね。

○こども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

議員の御質問のとおりでございます。

○10番（田上 忍君） そうしますと、御船町にとって、何かメリットというか、御船町に出してくれてよかったなというところって、そこは何でしょうね。

○こども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

アニバーサリーチケットの町外の方の利用につきましては、特に結婚の届出を御船町でしていただくと5,000円ということで、チケットを出しております。御船町で出すことで、御船町が思い出の地になるという効果も期待できますし、最終的にそれが定住にもつながることにも期待ができるのかなと感じているところです。

○10番（田上 忍君） これは出産についても同じだったですかね。

○こども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

出産については御船町だけということになっております。

○10番（田上 忍君） 今、課長の答弁では、これも移住定住の1つの一環だということで、答弁いただきました。ということは、これからホームページ等も、移住定住関係、もっともっと充実されていくと思うんですが、そういうのもリンクを張って、こういうのもあるんだよというのを出示してもらえたらと思います。

○6番（増田安至君） 一般会計の決算書の119ページから121ページにわたってなんですけど、人権擁護委員と民生委員について質問します。御船町の人権擁護委員は何人いらっしゃって、民生委員は何人いらっしゃるのですか。

○福祉課長（西本和美君） 人権擁護委員は11人、民生委員は47人、児童委員が3人となっております。

○6番（増田安至君） 今年の12月に全国で一斉に任期も終了して、新たにまたやり直しの時期が来ると思うんですけど、全員替えられるのか、それとも何かもう現段階で調査等ではできているのか。いかがですか。

○福祉課長（西本和美君） 民生委員につきましては13人、今回交代なさいます。人数が増えている担当地域がありまして、御船町は今度の改正時に民生委員が3人増えることとなっております。

○6番（増田安至君） 民生委員が非常に業務負担が増えて担い手不足というのが多々新聞にも最近出ていますので、ぜひこの機会に要望等もしっかり伺われて、内容を、ほぼ自腹でというところが多いみたいなので、非常に大変な役目なんです。それと人権擁護委員もそうですけれども、年間、この予算書を見たら、8,000を2人で分けていたりとか、非常に安いお値段でお仕事をやってもらっているというバックもあるみたいなので、よろしくお願いしておきます。

○福祉課長（西本和美君） 訂正させてください。民生委員の人数、先ほど民生委員が47名と申しましたが、大変失礼しました。民生委員が44人、児童委員が3人。今回の改正で、民生委員が47人となられて、合計50人となられます。大変失礼いたしました。

12月1日からその人数となります。

議員がおっしゃいますように、活動費しか手当がありませんので、そして、今民生委員になられる方も減少しておりまして、交代の際に次の方をお願いするのに大変苦慮しております。委員の皆様の御意見を聞きながら、無理のない活動をお願いできたらと思っております。

○2番（井藤はづき君） 決算書の136ページに、子ども医療費の件が載っていますけれども、令和2年度に新型コロナウイルスの影響でということで、いったん減っていて、今回少し増えているんですけど、こちらの要因の説明をお願いします。

○子ども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

令和2年度と比較してということですが、令和2年度の子ども医療費につきましては、新型コロナウイルス感染症の出現から間もなくでもあり、医療機関の受診控えが影響しております。そのせいか前年度より22%ほど減少しました。令和3年度になりますと、ウィズコロナ生活、先ほども申しましたところと重なりますけれども、コロナも一時期少し落ち着く時期がございました。そのおかげもありまして、医療受診というのも回復

傾向となったため、令和2年度と比べて約17%ほど増加しています。しかしながら、件数、医療費ともにコロナ以前の水準にはまだ戻っていないという状況です。

○2番（井藤はづき君） 今後は、今年度から高校生まで拡大というところでされていますので、また令和4年度の決算からは増えてくるのかなと思うんですけども。これまで、子ども医療費制度が開設されて以来の対象人数の推移というのはどのようになっていますか。

○子ども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

子ども医療費制度の対象人数の推移ということですが、平成13年度から開始しておりますので、全てを述べるとなりますとかなり時間を取ります。部分的な御説明になりますことをお許してください。

平成13年度に開始した時点では、件数というのが2,308件です。その後平成20年度に、対象児童をそれまでの未就学児の子どもから小学生までと拡大しました。平成20年度には3,832件の件数となっています。その後、平成26年度に今度は中学生までに拡大しております。その際は、平成26年度の助成件数につきましては、2万1,680件となっているところですが、最新の令和3年度になりますと、3万228件の利用助成の件数となっているところですが。

子ども医療費につきましては、助成件数及び助成額というのは、全体的なトレンドとして年々増加しています。要因としては、全体的な医療費の増加、また対象児童の拡大による、制度の拡大が主な増加の理由と分析をしているところですが。

○2番（井藤はづき君） わかりました。令和4年度以降の推移も注目していこうかなと思っております。

144ページに、私立保育園認定子ども園運営費に係る計算が出ていますけれども、こちらの一般財源の投入額の過去5年間の推移について、説明を求めます。

○子ども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

私立保育園認定子ども園の運営費に係る一般財源の投入額の5年間の推移ですが、平成29年度が1億3,951万9,608円。平成30年度が1億6,996万4,866円。令和元年度が1億7,773万7,239円。令和2年度が1億7,933万2,587円。令和3年度が1億4,936万9,959円です。

○2番（井藤はづき君） 年々増加傾向にあったところが、令和2年から3年にかけて下がっているようなんですけれども、その要因は何でしょうか。

○こども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

令和2年度から3年度の数字の差についてですけれども、令和3年度につきましては、これはもう補助金の交付ベースでお話をしますと、補助金の交付が多めに入ってきておりますので、その分、単費、一般財源が少ないようになってまいりますので、今回は、令和3年度につきましては1億4,936万9,959円の一般財源投入となります。

○2番（井藤はづき君） この補助金の交付が増えたというのは、コロナ関連なのか、それとも保育料未消化に伴うものなのか。そこの要因をお尋ねします。

○こども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

全体事業費が上がっている関係もあります。もともとと申しますか、保育園の運営費につきましては、公定価格そのものが上昇しております。また処遇改善ということで、保育士さんたちの全体的な処遇を上げましょうということで、保育園の運営費全体そのものが上がっております。その中で、補助金も増えているという状況でございます。

○2番（井藤はづき君） そうしましたら、町としての負担が少し軽減されたという認識でもよろしかったでしょうか。また、公立保育園でも同じような形になるのでしょうか。

○こども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

令和3年度につきましては、今説明を申し上げたところなんですけれども、公立保育園につきましては、全て一般財源を投入しております。そういった状況でございます。

○2番（井藤はづき君） 私立保育園は負担が軽減されたというわけではなく、この令和3年度に限って、このような形になったということですか。

○こども未来課長（沖 勝久君） お答えします。

運営費につきましては必要な部分は全て交付しておりますので、負担が軽減されたかといえば、負担が軽減されているという状況でございます。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

次に、4款、衛生費について説明を求めます。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 4款、衛生費について説明いたします。148、149ページをお開きください。1項、1目、保健衛生費。支出済額5,424万39円です。主なものは職員の人件費と12節、委託料の在宅当番救急医療情報運営委託料86万7,000円です。

150、151ページをお願いします。次に、2目、予防費。支出済額4,387万5,160円です。主な支出としまして、10節の需用費で、新型コロナウイルス検査キットの消耗品費132万2,000円。12節、委託料の予防接種委託料の季節性インフルエンザ委託料640万9,300円です。

152、153ページをお願いします。次に、3目、地域活動支援費。支出済額73万9,285円です。主なものは7節の報償費で、健康づくり地区推進員81名分の報償費44万8,000円です。

154、155ページをお願いします。4目、母子保健費。支出済額1,884万6,831円です。主なものは1節、報償費。会計年度任用職員の報償で、母子さんの10名分の381万8,495円と、7節、報償費で、乳幼児健診等の従事者9名分の謝金115万5,000円と、156、157ページをお願いします。12節の委託料。妊婦・乳幼児精密健診委託料1,075万5,284円です。

次に、5目、健康増進費。支出済額3,253万1,476円です。主なものは12節、委託料の集団健診委託料1,562万7,158円です。それと人間ドック委託料830万7,212円です。

158、159ページをお願いします。6目、保健センター管理費。支出済額3,790万4,738円です。主なものは12節、委託料でセンター清掃委託料92万4,000円と、保健センター屋上防水等改修工事監理業務委託料で148万2,800円。14節、工事請負費で保健センター外壁防水等改修工事3,041万5,000円と、コロナ感染対策で、保健センターの空調改修工事452万6,500円です。

いったん替わります。

○環境保全課長（鶴野修一君） 7目、環境衛生費。支出済額6,114万2,344円です。160、161ページをお願いします。主な支出は、7節、報償費のリサイクル推進報償金108人分、270万円。162、163ページをお願いします。18節、負担金補助及び交付金の小型合併処理浄化槽設置補助金34基分で、1,209万4,000円です。

次に、8目、公害対策費。支出済額53万5,796円です。主な支出は12節、委託料の特別収集委託料44万円です。

いったん説明を替わります。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 同じく162、163ページです。9目、新型コロナワクチン接種事業費。支出済額4,049万2,496円です。164、165ページをお開きください。主なものは12節、委託料で、接種予約等の業務委託料865万9,161円と、13節の使用料及び賃借料

で、集団接種会場の設営用用品のリース料499万150円と、空調機材のリース料1,083万3,680円です。同じく、9目、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の繰越明許です。支出済額1億1,286万7,902円です。166、167ページをお願いします。主なものは7節の報償費で医師、看護師等の報償費を含め、12節、委託料のコールセンター委託料1,136万99円と、会場運営委託料1,061万5,310円で、専門業者に委託して職員の事務軽減についております。168、169ページをお願いします。18節、負担金補助及び交付金。新型コロナウイルスワクチンの個別接種費負担金としまして、3,119万1,061円を各医療機関へお支払いしております。以上、ワクチン接種業務の実施の予算となります。

以上で、健康づくり保険課の説明を終わります。

替わります。

○環境保全課長（鶴野修一君） 168、169ページをお願いします。続いて、2項、清掃費。1目、清掃総務費。支出済額4,238万1,000円です。これは、ごみ収集に係る委託料です。

次に、2目、塵芥処理費。支出済額1億3,651万9,000円です。これは御船町甲佐町衛生施設組合の負担金です。

次に、3目、し尿処理費。支出済額5,420万5,000円です。これは、御船地区衛生施設組合の負担金です。

170、171ページをお願いします。続いて、3項、水道費。1目、水道事業費。支出済額18万9,000円。これは、粒麦地区の滅菌器取替工事に伴う地区水道整備事業補助金です。

4款、衛生費の説明は以上となります。

○議長（池田浩二君） 4款、衛生費について質疑を行います。質疑はありますか。

○11番（藤川博和君） 158ページの保健センターの工事金額3,041万5,000円について、2点ほど質問いたします。この工事金額は、3月の議会において、作田課長から工事金額については、3,061万1,900円の金額になっておりますという回答が一応答弁されておりますけれども、今回の決算では3,041万5,000円となっておりますけど、どちらが正解なのかということですが。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） お答えします。

3月の議事録を私も確認しまして、その金額につきまして、藤川議員からの質問に対しまして、私の不透明な説明があっただけかみ合わなかったということで、今読み返して反省しているところです。工事金額につきましては、これに記載しておりますように、私が申

しました金額につきましては設計金額で、実際の工事の決済金額は3,041万5,000円となっております。

○11番（藤川博和君） 今、3,061万1,900円という数字はどこから出てきたのですか。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） お答えします。

この工事費につきましては、設計を委託しました業者に対して、積み上げた金額として計上して、私が間違っって説明したというところですよ。

○11番（藤川博和君） 今、課長から間違いの訂正がありましたですね。この場合、事務局長、どう対応したらいいとですかね。この訂正の場合ですね。議事録にはもう載っておりますでしょう。そういう対応はどうなりますか。

○議会事務局長（安田哲也君） お答えします。

議事録の中の発言の訂正は、本会議で訂正可能ですので、今回の議会で訂正するようにします。

○11番（藤川博和君） 今、事務局長が言われたように、この件は、もう3,061万900円ですかね、これはこの場でもって、もう訂正が確立したということですね。課長の答弁のですね。わかりました。

2番目が、この設計当初が協議によって変更されておりますけれども、この協議の内容はどのような内容だったのですか。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） お答えします。

当初、設計では工期の関係上、工期は年度末の2月に入って工事を出した関係上、屋根の防水の工事のほうで、超速硬化ウレタンの塗装防止ということで設計をしまして、業者から協議がありまして、通常のウレタンの防水でできないだろうかという協議が出ております。

○11番（藤川博和君） 今の答弁はちょっとはつきりせんそうですね。超速乾、言わばスプレー工法といいますけど、スプレー工法がなぜできなかったのですか。ただ、工期のどうのこうのだったでしょう。何で環境衛生のところ、場所的に問題があったか、そういうのが全然わからないので、ただ協議したと、業者の言いなりに変更したということですか。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 当初、確かにうちの工事発注が遅くなりまして、この工法に変えた要因があります。その中で、また工事の短縮も見込めたんですけども、工事の工程上、ある程度スムーズにいったというところで通常のウレタンに替えたというこ

とが1つと、また、超速硬化ウレタン塗膜防水のほうは吹付け方法になりますので、周辺の皮膜防止の養生が必要になるということも1つありました。その関係上、いろいろなことを協議した上で、この工法に変更を、うちのほうで承認しております。

○11番（藤川博和君） まず設計のときに、スプレー工法は設計事務所が行っているとでしょう。その設計事務所はそういう、今言われた、周辺に飛び散ると、そういうのは緩和されて設計されたんですか、されなかったんですかね。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） お答えします。

その状況につきましては、うちのほうの打合せの中で、やはり工期のほうが私たちが一番心配した点でございましたので、それを優先して設計をしていただいたというのが当時の状況になります。

○11番（藤川博和君） それは逆でしょう。スプレー工法が短期間で終わるとですよ、工期は普通の工法の、半分ぐらいで大体スプレー工法は終わるとですよ。今、逆なことを答弁されよるですね。それは、設計事務所に確認されたんですか。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 私どもも、工期が一番私も心配しまして、議員がおっしゃいますように、短時間でできる工法をということで、この工法を選んでまず設計をしていただきました。中で、いろいろな周辺のこととがまず、今思い出す限りでは、そういう話も出てなかったということで、私も工事に不慣れな点もございまして、そこが見落としがあったのかなということで、深く反省しているところです。

○11番（藤川博和君） 変更されるのはいいですけども、変更の条件、基準ですね。基準はどうなっておりますか。そのスプレー工法よりも普通の工法のほうがよかったんですか。性質的に、材料的にいい材料を使って、そのほうに変更されたのですか。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） お答えします。

工法につきましては、このスプレー工法と同等とか、それ以上に勝る工事工法ということで、監理業者にはお願いをしまして、選定をしていただいているところです。

○11番（藤川博和君） うちも先日御船中学校の工事を行いました。同じスプレー工法だったです。それで、今言われる普通のウレタンをやったら、設計事務所から、これは程度が低いから駄目ということで、同等品か同等以上の防水の材料で行ってくれと。これは学校教育課長も御存じだと思いますけれども、あくまでもやられた工法がスプレー工法よりも程度が上だったということをお断言されるのですね。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 工法につきましては、それ以上ということで、私は認識しておりますが、確かにこの工法につきましては監理業者にほとんどお願いしてやった関係上、持って来てもらった日本特殊塗料のパフレットもお持ちいただきまして、それで官公庁仕様の品物を、工法を利用してやりたいということだったものですから、この工法で私は承認したという記憶がございます。

○議長（池田浩二君） 藤川議員、まとめて質問してください。

○11番（藤川博和君） 変更した材料が、要は設計当初よりも上だったか同等以上だったかということですか。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 私も、これはもう設計業者、監理業者にお願いしていますので、そのところは話をして持って行って、工法を変更したという認識でおりました。

○11番（藤川博和君） 課長は素人だからそれでいいってんが、普通は町が損する部分ですね。だから、同等ぐらいの材料を使えばいいですよ。要ははっきり言って、私も専門家だからですね、それ以下ですよ。だから、そういう監理はある程度十分にさせていただきたいと思うんですね。今度、中学の場合は、それだけ設計事務所も監理して、それ以上のグレードの高いので工事を行っております。それによって、1週間か10日、工事が遅れましたよ。だから、監理だけは今後しっかりしていただきたいと思います。よろしく願います。

○7番（森田優二君） いろいろ今話があつておりますけれども、やはり設計変更する場合は、大体同等以上というのが基準になっていると思います。課長が言うように、そういう説明でしたということであれば、その同等以上だったという説明ができる資料を、私は取り寄せていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 今、藤川議員から専門の立場として、私のほうに指摘いただいてありがとうございます。私たちも、専門知識がない上で、監督のほうに一任したということで、本当に深く反省しております。資料的には、今言われました官公庁の仕様書ということで、その中から、工法を選んでいただいたということで、資料もいただいておりますので、それを今見て、今お答えをしておりますけれども、今後、こういったことのないように、私たちも気をつけて、もう少し勉強して、今後工事のほうに当たっていければと思います。大変申し訳ありませんでした。

○7番（森田優二君） 私の今の質問に対してはどうなんですか。それは、結局、課長はそう思っても、ほかの人たちはみんな、ここでの話だから、わからないとですよ。だから、一番初めの設計はこういう品物でした。後から変更したのはこういう品物でしたという、ちゃんとした仕様書というか、そういうのがあると思うんですよ。だから、それを取り寄せてもらえますかという質問をしたのです。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 答えが食い違っていて申し訳ございません。当初の設計と、また同等かそれ以上の仕様書につきましては、業者に再度お願いしまして取り寄せておきます。そして御説明したいと思います。

○10番（田上 忍君） 成果説明書のほうですが、50ページに不法投棄の件数が出ておりますけど、この不法投棄については、前年度に比べたらどうだったのでしょうか。増減について答弁をお願いします。

○環境保全課長（鶴野修一君） お答えいたします。

この不法投棄への対応につきましては、定期的なパトロールを実施しております。また町広報紙や看板等の設置の取組みを継続して実施しております。その結果、緩やかな減少は見られております。実績としまして、令和元年度23件、令和2年度が41件だったことに対しまして、令和3年度は24件ということで、減少はしているものの、まだまだ事案の発生は散見されているという状況です。

○10番（田上 忍君） では、その不法投棄されたものの中で、主なものというのはどんなものだったのでしょうか。

○環境保全課長（鶴野修一君） お答えいたします。

多岐にわたりますので、主なものというものはなかなか難しいと思いますけれども、タイヤであったりとか、家電であったりとか、また中にはゴミステーションのごみに、回収の不可能なごみとして投棄といいますか出されたものを町がやむを得なく回収をしているというものもあります。主にはそういった粗大ごみが主なものということになります。

○2番（井藤はづき君） 1点お伺いします。162ページから新型コロナ関連の項目がありますがすけれども、なかなか収束が見えないという中で、日々の、これは町民からのお尋ねだったんですけれども、御船町の人数が特別多いように感じるということで、何かそこら辺の認識をどう思われているか。他自治体と比べて、御船町の感染者数が多い、少ないとか、そういった、もし多いとすればなぜ多いのかとか、そういった分析みたいなことは、担当

課でされたりはしていますか。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） お答えします。

感染状況につきましては、私も保健所から毎日連絡があるたびに心配をしておりました。ただ、郡内、御船保健所管内の状況もずっと資料にまとめまして昨日お渡ししたと思いますけれども、本当に大体郡内5町ありますけれども、大体3割の推移で今御船町が出て、感染者も出ている状況です。ただ、町としましても感染対策、特に3密と感染防止については、いろいろ周知しながらやっているところです。ただ、条件のその原因という、御船町の増加する原因につきましては、どこも一緒ではなかろうかということで、私は思っていますので。ただ、安心、油断が一番いけないということで、そこは職員ともども引き締めてやっていきたいと思っておりますので、そのところは以上の結果としてお答えをしておきます。

○2番（井藤はづき君） その方が尋ねられた趣旨としては、地域的に、例えば熊本市内に出勤される方が多いからとか、例えば町内での会合とか会食が比較的に多いからとか、何かしら原因があるのだったらそれを教えてもらったらみんなで気をつけて、もっと感染者数を抑えていけるのではないかなという趣旨で、何かこれといった原因がわかっているのだったら教えてほしいという趣旨だったので、そういったのは何か把握されているものはありますか。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） 人口の比率もあるかと思えますけれども、本当に市内に勤め者は多いし、また特に山間部、山都町とかにつきましては、山間部で高齢者が多いということで、出歩く人たちが少ないというのが原因の1つだと思いますけれども、ただ、若者の、若年層の感染につきましては、一番、その徹底がされてなかったのが原因ではなかろうかとは思っております。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

○3番（宮川一幸君） すみません、1点、お聞きします。成果説明書の41ページです。風しんの関係の予防接種です。令和3年度までの大体予定だったと思うんですが、これを見ましたら令和7年度まで延期されているという形で、抗体検査、受診率も30%しかなくなってない。今まで広報とかそういったので、接種の勧奨も行ってきたが、なかなか少ないという形で、あと3年間、こういった形でこの受診率を上げられるのか、お伺いをします。

○健康づくり保険課長（作田豊明君） お答えします。

宮川議員からも風しんの抗体検査の実施につきましては、一度ありまして、うちのほうも個別にこの勧奨を行っているところです。ですけれども30%ということなんですけれども、あと3年間、これを延長されましたので、ぜひ受けていただきたい方向性をもってもう一度個人的な勧奨を行って、広報等でも周知徹底をもっていければと考えております。

○3番（宮川一幸君） 去年も同じことを聞いたと思うのですが、こういった形でせつかく国が事業をやっているのです、対象年齢が私ぐらいからの年齢、60歳ぐらいから下の約10年間ぐらいの人なので、仕事は忙しいとは思いますが、どうか受けていただくような形の提案を、よろしくをお願いします。

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

これより3時20分まで休憩します。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後3時12分 休 憩

午後3時20分 再 開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（池田浩二君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

5款、農林水産業費について説明を求めます。

○農業振興課長（井上辰弥君） 5款、農林水産業費について説明いたします。決算書の170、171ページをお願いします。5款、農林水産業費。1項、農業費。1目、農業委員会費。支出済額2,280万1,887円。主な支出は1節、報酬費で農業委員14名の報酬費326万8,750円と、農地利用最適化推進委員10名の報酬費208万7,332円になります。172、173ページをお願いします。

次に、2目、農業者年金事務費。支出済額524万7,074円。主な支出は、10節、需用費の農業者年金事務消耗品6万3,932円になります。

次に、3目、農業総務費。支出済額5,342万7,785円。主な支出は2節、給料で職員8名分2,599万9,560円になります。

174、175ページをお願いします。4目、農業振興費。支出済額4,332万4,584円。主な支出は18節、負担金補助及び交付金の山地生産基盤パワーアップ事業補助金、176、177ページをお願いします。旧経営体の農業機械導入補助3,324万8,000円になります。

次に、5目、畜産事業費。支出済額17万7,614円。主な支出は18節、負担金補助及び交

付金の熊本県中央地区家畜自営防疫促進協議会負担金10万4,000円になります。

次に、6目、農地費。支出済額1億3,642万6,699円。主な支出は12節、委託料の団体営農業農村整備事業、道整備型上益城平坦地区測量設計業務、広域農道マミコウ道路の保全対策工事に係ります測量設計費1,910万5,900円になります。178、179ページをお願いします。次に、6目、農地費繰越明許です。支出済額1,996万5,000円。支出は12節、委託料の農業用重点ため池ハザードマップ作成委託14カ所分になります。次に、6目、農地費事故繰越です。支出済額8,435円。支出は16節、公有財産購入費の平成30年12月に供用開始されています九州横断自動車道延岡線工事に伴います工事用道路の拡幅分、足水農道部分に係る用地買収1件になります。

次に、7目、農地防災費。支出済額1,592万4,580円。天君ダム管理運営費になります。主な支出は、180、181ページをお願いします。12節、委託料。無線装置点検整備委託料220万円になります。

182、183ページをお願いします。9目、農業振興地域整備事業費。支出済額421万2,927円。主な支出は12節、委託料の農業振興地域整備計画策定業務委託料ふるさと納税392万7,000円になります。

次に、10目、農業経営基盤強化促進対策事業費。支出済額380万6,323円。主な支出は18節、負担金補助及び交付金の認定農業者支援対策規模拡大促進事業補助金146万9,900円になります。

次に、11目、経営所得安定対策事業費。支出済額585万9,593円。184、185ページをお願いします。主な支出は18節、負担金補助及び交付金の御船町地域農業再生協議会補助金341万8,000円になります。

次に、13目、中山間地域総合整備事業費。支出済額1,776万8,810円。主な支出は18節、負担金補助及び交付金の中山間地域総合整備事業負担金1,738万4,810円になります。

次に、14目、中山間地域等直接支払い制度事業。支出済額6,328万3,241円。主な支出は18節、負担金補助及び交付金の中山間地域等直接支払い交付金30集落分6,248万6,956円になります。

次に、15目、地籍調査事業費。支出済額1億1,728万2,550円。主な支出は186、187ページをお願いします。12節、委託料の熊本地震に伴う地籍調査一筆確定測量委託料4,941万6,566円。調査面積3.37平方キロメートル、高木、小坂、陣、豊秋、滝川地区の一部と、

新規地区地籍調査業務委託料3,559万3,191円。調査面積が1.12平方キロメートル、瓜山、辺田見地区の一部になります。

次に、2項、林業費。1目、林業新興費。支出済額2,920万9,106円。主な支出は188、189ページをお願いします。15節、原材料費の林道作業道補修資材253万2,590円。13地区への生コン等の支給と、190、191ページをお願いします。18節、負担金補助及び交付金の熊本間伐材利活用推進事業補助金510万円と、公益的機能発揮森林整備事業補助金、こちらは森林環境譲与税です。728万4,280円。水越地区17.7ヘクタールの間伐事業に係る補助金になります。1目、林業新興費繰越明許です。支出済額628万5,409円。支出は14節、工事請負費の森林管理道辺田見線改良事業になります。

以上で、5款、農林水産業費の説明を終わります。

○議長（池田浩二君） 質疑を行います。5款、農林水産業費について、質疑はありませんか。

○2番（井藤はづき君） 188ページに自動撮影カメラ3台とありますけれども、こちらの説明を求めます。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

こちらは、熊本県でアライグマ、こちらは特定外来生物になりますが、その生息域が拡大している可能性があり、早期に発見し、捕獲する必要があるために購入を行っております。確認情報としましては、御船町では、平成24年4月28日に辺田見の山で確認されておりまして、その後令和2年11月は甲佐町で1頭、令和3年1月に益城町で1頭確認されておりまして、家屋への侵入被害、繁殖、糞尿被害、感染症の媒介など、農作物以外でもかなりの被害が他地域で発生しておりますので、センサーカメラで確認をし、捕獲をするためのカメラでございます。

○2番（井藤はづき君） 3台とありますけれども、3台で足りるのかなというのと、前回出た目撃された付近のところに設置されているのか、どこに設置されているのかというところをお願いします。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

今のところ、本町での24年以降の確認情報はありますが、確認が発生した場合には直ちにその3台を活用して監視を行うと。また、他地域へ拡大した場合には、また補正等で対応して、購入するというところで考えております。

○2番（井藤はづき君） 今は、設置はされているのですか。今、設置はしていますか。

- 農業振興課長（井上辰弥君） 今はまだ設置はしておりません。
- 2番（井藤はづき君） 物はあるんですね。なので、もったいないので、何かしらに活用していただいたほうがいいんじゃないかと思ったのですが。
- 農業振興課長（井上辰弥君） そちらにつきましては、今農業者6名の方がわなの免許を取っておられて、積極的に今勉強会を行っております。その中で、11月から狩猟に入りますが、その方々の圃場において、くくりわなを専門家を呼んで設置していただきます。その中で監視カメラを付けて、イノシシ、シカの動向なりを勉強してもらうために設置しようと考えております。
- 2番（井藤はづき君） はい、わかりました。では、同じ鳥獣被害関係なんですけど、188ページ以降に報償金が出ております。現在のイノシシ、シカ、サルの報償金の額をお願いします。
- 農業振興課長（井上辰弥君） まずイノシシから説明いたします。イノシシにつきましては、町の単費で1頭当たり5,000円、それと国が1頭7,000円、合わせて1万2,000円になります。ただし、国への申請につきましては、御船町鳥獣被害防止対策協議会が実施主体となって行っております。次にシカです。シカが、町が1,000円、県が1,000円、国が7,000円の1頭当たり計9,000円、こちらも国に対する申請につきましては御船町鳥獣被害防止対策協議会が行っております。最後がサルです。サルが町が1頭当たり1万1,000円、県が1頭当たり1万1,000円、国が8,000円、合わせて3万円になります。こちらも国分の8,000円については、鳥獣被害防止対策協議会から行っております。
- 2番（井藤はづき君） 捕獲頭数はどうなっていますか。
- 農業振興課長（井上辰弥君） 平成30年がイノシシ281頭、シカが24頭、サルがゼロ。令和元年度、イノシシ400頭、シカが10頭、サルはゼロ、令和2年が、イノシシ396頭、シカ31頭、サルがゼロ、令和3年度がイノシシ335頭、シカ61頭、サルがゼロとなっております。
- 2番（井藤はづき君） 今聞いていますと、やはり毎年相当な数が捕獲できているということで、最近よく聞くんですけども、シカの被害が増えてきたという話も聞きますし、今聞いたところでもかなり数が増えているなという印象ですが、報償金は総額でイノシシが1万2,000円とシカが9,000円というところで、こちらはシカも増やしていかないといけないのではないかと思います。いかがでしょうか。
- 農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

報償金につきましては、令和2年度からイノシシにつきましては2,000円拡充しまして1頭当たり5,000円としております。シカにつきましては、捕獲が少なかったため、据置きとしておりましたが、近年シカ被害が増加している状況を踏まえまして、令和3年度は捕獲隊の皆様にくくりわなでのシカの捕獲を依頼しました。結果61頭と、前年に比べまして43頭の捕獲増となっております。また、捕獲隊への緊急のお願い事も多くなっておりまして、例えば農業者の方の農地にのり網を進入防止で張っていたと。そこにシカが引っかかったと、すぐに来てくれとか、いろんな面でシカ被害の対応が多くなってきておりますので、こちらは担当は農林企画係になりますけれども、来年度の当初予算の編成時においてはシカの補助金については拡充を今検討しておりまして、県内の状況も踏まえ、今調査をしているところです。

○2番（井藤はづき君） シカは箱わなにも入りにくいというところで、捕獲が難しいところではありますので、前向きに検討をお願いします。

それと、ほかのアナグマとか、そういった小動物の被害とかは何か聞かれていませんか、増えているとか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

アナグマは近年一気に増えております。対応としましては、先ほどお話ししましたように、アライグマが御船町では平成24年に確認されたときに、捕獲用の小さい箱わなをうちのほうで持っておりますので、そちらを貸し出してあります。ただし、かかったらもう、狩猟関係にひっかかったらいけませんので、どこか遠くに持って行って放してくださいというところをお願いしております。

○2番（井藤はづき君） それは農業者の方に箱わなを貸し出して、捕獲されたらどこか別のところに持って行って逃がしてくださいという意味ですか。

○農業振興課長（井上辰弥君） こちらは農業者に限らず、住宅地とかからも電話がありますので、そちらの方々にも貸しております。

○2番（井藤はづき君） 逃がしたらまた戻ってきますよね。なので、そこら辺も駆除隊とかは活用したりはできないんですか。

○農業振興課長（井上辰弥君） そこまで今検討して、駆除隊の隊長と話をしておりまして、今度10月頃会議をしますので、そのときにどうするかと、報償金がアナグマは県と国がありませんので、先ほどの町の有害鳥獣捕獲報償金で、また別枠で報償枠を設けて対応する

かとかいう形を検討したいと考えております。

○10番（田上 忍君） 私も同じところで、有害鳥獣関係ですが、66ページの成果説明書を見ますと、以前やられていたような事業が入っていませんけれども、何か講習会とかそういうのをやっていたかと思うのですが、これは令和3年度はできなかったということですか。

○農業振興課長（井上辰弥君） 御質問は、地域へ出向いての講習会の件ですか。はい。

こちらは、町の単費でイノシシ、シカによります農作物被害の抑止を図る目的としまして、電気柵とかワイヤーメッシュのハード事業と併せて、ソフト事業ということで、令和元年度から、野生鳥獣被害対策アドバイザーによる地域での説明会ということで、鳥獣に対する正しい知識の伝達、餌づけストップについて、また、電気柵、ワイヤーメッシュの正しい設置についてということで、現地指導を行っているところでございまして、農業者の方々からも被害抑止に大きくつながるといって期待もされているところなんですけれども、議員御指摘のとおり、令和3年度はコロナ感染症対策の関係で実施しておりませんでした。今年度につきましては、一応予算計上しておりまして、こちらは甲佐町と連携して、経費の節減ということで、2町で行っておりますが、状況を見て、木倉の続きの1カ所と上野・七滝地区で1カ所開催したいと考えております。

○10番（田上 忍君） わかりました。では、また決まりましたら、周知をお願いしたいと思います。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

○3番（宮川一幸君） 成果説明書で63ページです。中山間総合整備事業の圃場整備の件でお尋ねします。4工区ありますが、その今の進捗状況の説明をお願いします。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

現在の進捗状況としましては、塔ノ本工区、これは釜出区、株迫工区、浅の藪、こちらにつきましては、今年度の稲刈り終了後、ですから恐らく10月ぐらいから工事に着手する予定とされております。それから、塔ノ本工区、こちらは南田代第1区、こちらが今換地委員会が設立されておりますが、事業主体が熊本県になりますが、話を進める中で、順調に行けばこちらについては、来年度稲刈り終了後からの着手になるという答えを得ております。有水地区につきましても、今からやっとな換地委員会が設立されますので、状況に応じて工事着手になるということで、県から状況を聞いております。

○1番（中城峯雄君） 決算書の181ページですけれども、今年度もダム堆積委託料が計上さ

れています。令和3年度は堆積量は何%だったのでしょうか。また前年度と比較してどうだったのでしょうか。

○農業振興課長（井上辰弥君） お答えします。

令和4年2月の堆積調査報告では、堆砂率が66%となっております。昨年と同時期での調査結果が65.3%でありましたので、0.7%の増となっております。

○1番（中城峯雄君） やはり若干ずつ増加していますよね。簡単に66%と言いますが、100%のときに66%も埋まれば、半分以上埋まっていますということですからね。これは深刻に捉えるべきですよ。特に、御船町は今、西往還地区、辺田見地区はもう瞬く間に宅地、アパート、建ってきましたよね。また辺田見の上のほうも分譲地が増えています。するとまた、宿泊施設もできます。これは内水被害が本当に深刻になるのではないかなと思いますけれども、水路のしゅんせつも予定されてはおりますけれども、これはやはり天君ダムのしゅんせつというのは喫緊の課題と思いますし、県にはどういう要望をされていますでしょうか。

○農業振興課長（井上辰弥君） 直近では、今年8月31日に熊本県天君農地防災ダム管理協議会において、管理者である藤木町長から熊本県に対して、強くしゅんせつの要望をされておられます。また、今年1月25日には、上益城地域振興局長、農林部長、農地整備課長がダムに視察に伺われております。また、1月27日には熊本県農地整備課長、農地整備課課長、施設管理班長がダムを視察されておられますので、その折に強くこちらからしゅんせつの要望を行っております。

○1番（中城峯雄君） 町長も強く県に、昨年もそういう御返事でしたけれども、要望されていることは承知しておりますけれども、これは嘉島町も下流のほうは随分冠水被害がありますので、ぜひ嘉島町の荒木町長とも一緒になって進めていっていただきたいと思っています。

○議長（池田浩二君） ほかに質疑はありませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。本日の会議はこれで延会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田浩二君） 質疑なしと認めます。

したがって、本日はこれで延会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

午後3時47分 延 会